昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和48年6月1日発行毎月1回1日発行

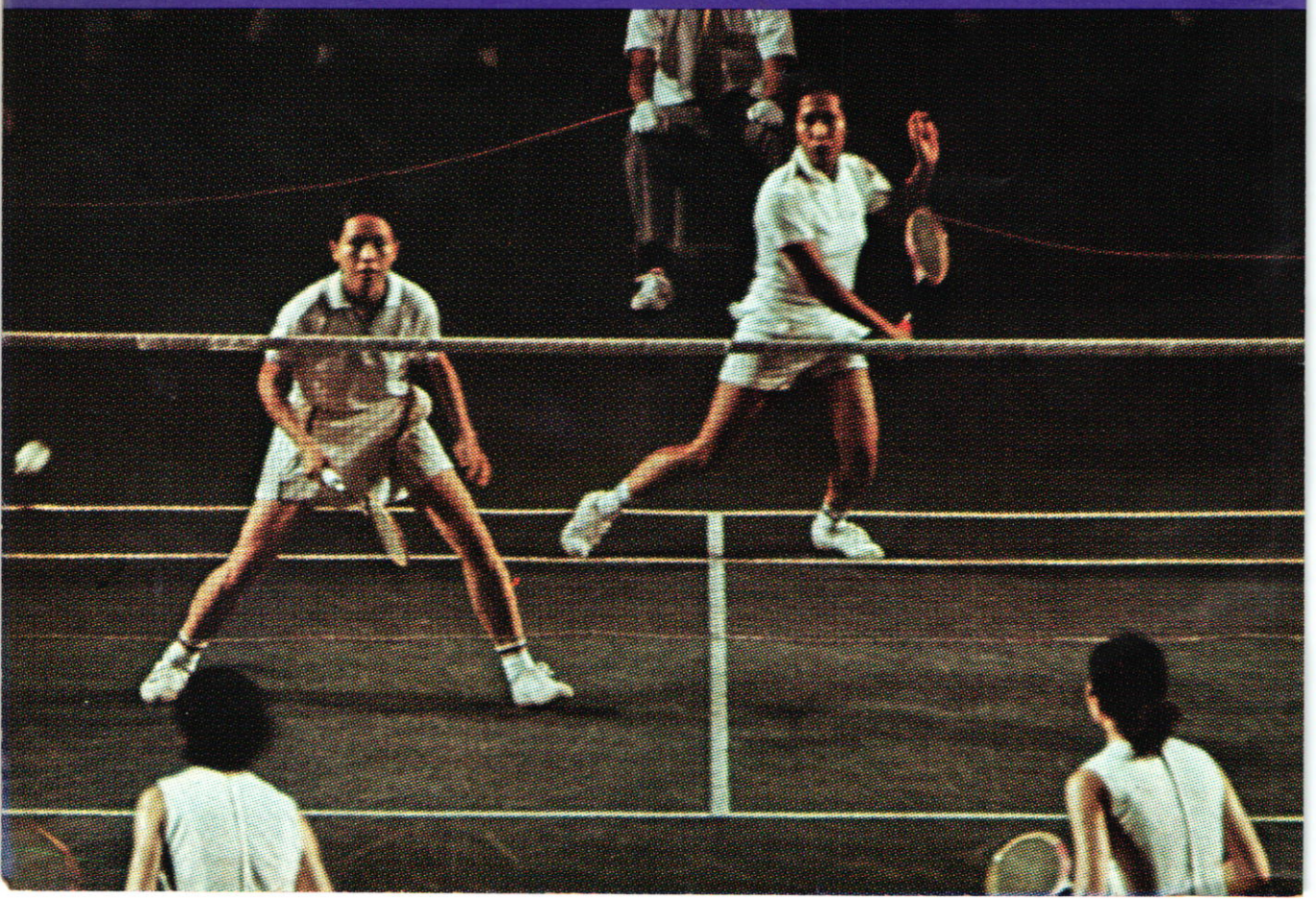
日本バドミントン協会

バドミントン界

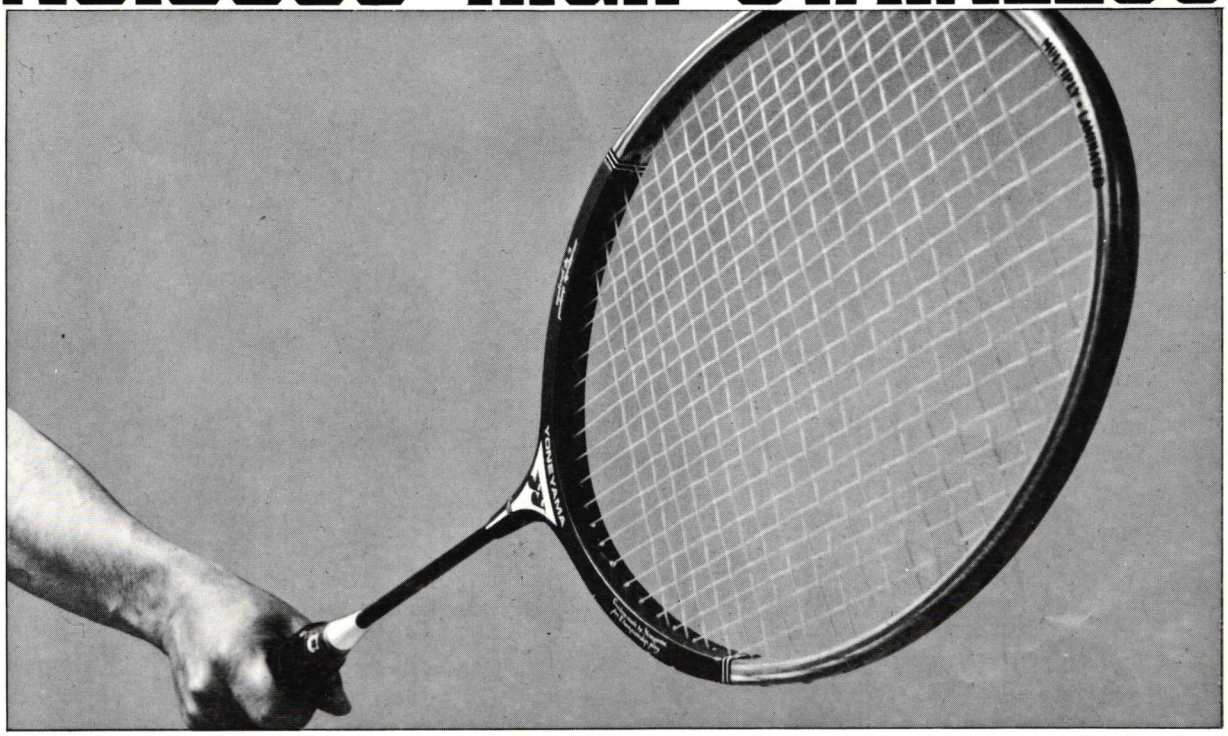
THE BADMINTON WORLD

JUNE, 1973

44



No.9000 HIGH STAINLESS



未知のちからを隠しもつ

ステンレスのシャフト

しぶとい弾力。まったく鋭い切れ味。瞬間に炸裂する攻撃力。いままでのバドミントンラケットでは、とても出せなかった鮮烈なパワーです。シャフトにステンレスの特性を生かしきってありますから、難度の高いテクニックも思いのまま。これぞ、バドミントンを科学するヨネヤマの、新しい自信作です。その名をハイステンレス。その真価は、世界に点在する一流プレイヤーたちに問いたい。

No.9000ハイステンレス/¥3,800(フレームのみ)

ヨネヤマラケット



全日本実業団－全日本学生団体対抗戦の熱戦

バドミントン界

〈48年6月号〉

【特集】近づく〝無冠の王者〟中国との対決……2
・第1戦は9月2日、日程決まる……2
・日本代表はナショナル・チーム合宿で選抜……3
・中国は実力世界一？……4
——驚異的スタミナ、スマッシュ攻撃……4
——マレーシアも寄せつけず。デンマークには完勝……5
・インドネシア×中国戦実現か……7
・IBF加盟国一覧表……7
・開かれた新しい歴史の扉、会談紀要に調印……8
・中国語を知ろう——同文同種とはいうけれど……10
☆競技会　実業団×学生団体対抗……12
・電電東京が初の王座、女子は若さの日体大……12
・初めての対抗戦を開催して……12
・写真グラフ——若さの熱闘、延べ12時間……17
☆よみもの〈シャトル克苦談議〉……26
☆初めて海外遠征を経験して……30
☆百万人のトレーニング入門……32
——暑さと疲労に打ち勝とう——
☆百万人のバドミントン上達法……31
——再び種を蒔き苗を育てる論——
☆北から南から……34
☆大会運営規定100問集⑥……36
☆レコード……38
☆協会検定推奨品リスト……28
☆今月のことば……40
☆編集室……40

スタッフ／表紙撮影・松井亮麿／同製作・小浜正道／グラフ写真・山田真市／その他写真・山田真市、フォートキシモトほか協会関係者／イラスト・秦　浩／編集・明本薫／庶務・柏木葉子／協力・日本協会事務局、各加盟団体、愛読者

特集

念願の日中交流が実現、九月に中国男女ナショナル・チームが来日することになった。昨年十月の日中両国の非公式会談に基き、さる一月、日本協会から川端理事長、菊地常務理事（当時）が北京を訪問、中国代表との間に会談紀要に調印した。

この結果、中国側が他のスポーツの場合の慣例を破り、九月にまず来日、日本はその後の十一月ごろ訪中することが決まった。中国のバドミントンは、これまで〝ベール〟にかくれていたが、ネパール国際大会以来の数々の情報により、実質的には男女ともに、世界で一、二を争う強さを持っていることが、しだいに明らかになりつつある。

世界の女王・日本も安心していられないわけだが、逆に見れば、中国との交流は日本が真の世界一に飛躍するための試金石ともいえる。近づく史上初の日中戦を前に、これまでの経過、準備、中国とそれを取り巻く情勢などについて紹介してみる。

近づく無冠の王者・中国との対決

第1戦は9月2日、東京

全国10都市で男女とも各5試合

初の日中対抗戦は、別項のような日程により、九月二日から十六日まで、全国10都市会場で行なわれることになった。

会談紀要（6ページに詳報）については二月の理事会・総会で当時の川端理事長、菊地常務理事から報告があり、その結果開催準備その他は、新発足した小宮執行部に引き継がれた。

まず全国各地の都道府県協会に「開催希望があるかどうか」を照会し、これを集約したのち①地区ブロックで一ヵ所ずつ②開幕戦と締め繰くりは中央（京浜地区）で行なう――原則を立てた。

さらに、試合数や男女別などを検討し①男女一緒では試合数が多くなるため、東日本方面で男子、西日本地域で男子②開幕戦を東京、締め繰くりを横浜で開き、この両会場のみは男女ともに試合を行なう③第1戦と最終戦は男女計7試合④その他の会場は3複2単の計5試合を原則とする、と決めた。

また日本チームは、ナショナル・チームを編成した上で、この中から各地に必要メンバーを送り込み、このほか、地方大会では単複いずれかに地元代表を出場させてよいことにした。このため、地方大会では地元選手が最大限で延べ十六人、中国勢と対戦できることになる。

テレビ、新聞社等の後援関係もほぼ固まりつつあり、すべての大会がブラウン管にのり、新聞の後援がつく（地方はその地元だけ）予定。なお、中、四国地区の試合は都合により九州へ移譲された。

中国チーム（役員含め男女計25～30人）は八月末ごろ来日する。

……競技日程……

★9月2日（東京）＝男女
12時・代々木第二体育館

★9月4日（大阪）＝女
17時30分・大阪中央体育館

★9月5日（仙台）＝男
17時・宮城県スポーツセンター

★9月7日（長崎）＝女
16時・長崎市民体育館

★9月8日（札幌）＝男
17時・真駒内屋内競技場

★9月9日（福岡）＝女
13時・福岡市民体育館

★9月11日（金沢）＝男
17時・石川県体育館

★9月13日（名古屋）＝女
17時・愛知県体育館

★9月14日（前橋）＝男
群馬県スポーツセンター

★9月16日（横浜）＝男女
12時・横浜文化体育館

日本代表は合宿後、決定

候補メンバー各13人出そろう

日本協会は、中国との対戦が本年度最大のエベントであり、選手強化にも益するところが多いため、男女ナショナル・チームを編成、その中から対戦メンバーを選ぶことに決めた。



昨年，業務のため中国に渡ったとき，相沢マチ子さんらは中国の選手と交歓した。

ナショナル・チーム構想は前年から発足しているが、この一年で選手の消長があったので、改めて選抜し直した。

選手はこれまでの実績、国際経験、現在の実力、将来性などあらゆる角度を材料に検討の上決められた。

男子は小島、秋山の両ベテランを中心に、六人までが昨年十月のトマス杯代表。さらに、今春の全英選手権に遠征し、初の国際舞台を踏んだ遠藤、銭谷、早くから大器の素質を認められ七〇年末のアジア大会に参加した谷口、ダブルス・プレーに定評のある田所と、新鋭が加わっていて、順当な顔ぶれ。

女子は湯木、相沢、竹中のいわゆる〝3強〟に、一年ぶり故障が治ってカムバックした柴山、ユ杯補欠だった石崎の中堅、そして、全英代表となった西尾をはじめ、学生界のトップ・クラスがずらりと並んだ。秋本と谷は初のグループ入り。このほか、日本選抜選手として男子の中井、女子の徳田ら〝希望の星〟各三人も合宿入りする。

合宿は七月十九日から二十五日まで、男子は富山市の興人体育館、女子は栃木・益子町の旭光学体育館で行なわれる。そのあと第二回合宿は八月十日―十五日に男女とも東京で開かれる予定。日本代表はこの中から八人で合宿の結果、選抜選手との入れ替えもあり得る。

なお日本チーム監督としては男子が遠井稔男（日本協会競技力向上委員長）女子が伊藤基記（同副委員長）に決定ずみ。

合宿入りする日本代表候補

【男　子】

小島一平（ヨネヤマラケット）ト杯代表、全英遠征

秋山真男（自営＝秋山紙店）ト杯代表、全英遠征

梱野尾昌一（ヨネヤマラケット）ト杯代表、全英遠征

本間順次（トヨタ自工）ト杯代表、全英遠征

今泉　勉（高岡市役所）ト杯代表、全英遠征＝73年

池田信孝（電電東京）ト杯代表

遠藤好雄（電電札幌）全英遠征＝73年

谷口　寛（トヨタ自工）アジア大会代表

銭谷欽治（中大三年）全英遠征＝73年

田所光男（電電東京）

以上、ナショナルチーム

森田　昇（栃木・石橋高教）

尾崎幹雄（中大四年）

中井基夫（法大一年）

以上、日本選抜選手

【女　子】

湯木博江（カワサキラケット）ユ杯代表、全英優勝

竹中悦子（ヨネヤマラケット）ユ杯代表、全英優勝

相沢マチ子（ヨネヤマラケット）ユ杯代表、全英優勝

石崎茂子（電電東京）第二回女子国際選抜代表

柴山キヨ子（カワサキラケット）ユ杯代表

西尾真理子（日体大二年）全英遠征＝73年

池田美加（日女体大四年）第二回国際女子選抜代表

塩崎睦子（日女体大二年）第二回国際女子選抜代表

谷　美津代（日体大二年）

秋本八代美（日体大二年）

以上、ナショナルチーム

堀川栄美子（新潟青陵高教）

佐伯智子（日体大二年）

徳田敦子（四条畷学高三年）

以上、日本選抜選手

男女バドミントン

本も危うし

驚異的スタミナ、スマッシュ攻撃

実質はインドネシアをもしのぐ

小島　一平

日中交流を控え、中国がどのくらいのレベルにあるのか、また、どのようなプレーをするのか、私がこれまで見聞した範囲で述べてみたい。

まず確信を持っていえることは中国が男女ともに、世界のトップレベルにある、ということだ。この二年来、中国チームはヨーロッパをはじめ、各国と盛んに交流試合を行なったが、いずれも圧倒的に強く、勝利を収めてきた。

主要国で残るのは男子チャンピオン国のインドネシア、女子世界NO1日本ぐらいである。その意味で、今回、日中の女子が対決することは、日本にとってはもとより、世界各国注目の一戦となるだろう。同時に、試合内容も実力世界一を決めるにふさわしく、緊迫したものになることは、間違いない。

一方、男子はどうだろうか。私が各国のプレーヤー、役員たちに「もし中国とインドネシアが、トマス杯（世界選手権）形式で対戦した場合どうか」質問したところすべての人が「中国が有利」という答えを出した。それも、スコアが「7－2」もしくは6－3。まず圧勝するだろう」とのことであった。

このことからしても、男子の実力は推して知るべしである。

私は五月、インドネシアで開催されたトマス杯観戦後、香港に立ち寄り、昨年、中国ナショナル・チームが香港を訪問した際のフィルムを見る機械に恵まれた。

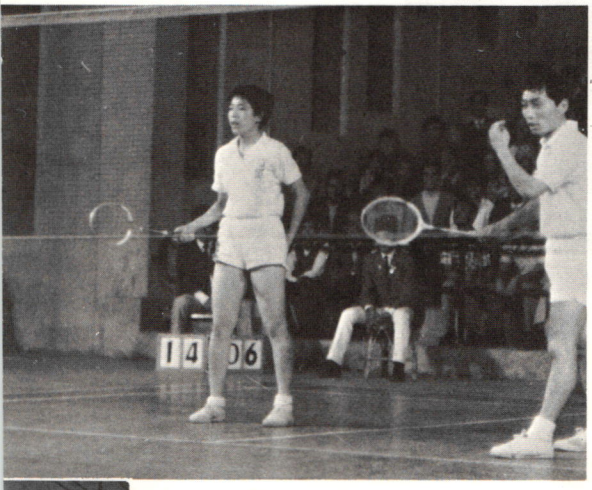
その第一印象、それは、彼等のプレーぶりがすばらしい、というよりは、恐ろしい感じがしたことである。特に男子ダブルスは中国同士のエキシビションで、なんと1ゲーム40分を要しコートに入っている四人がまったく機械のごとく、バックライン、サイドラインのミスがほとんど無く、スマッシュ、スマッシュの連続。

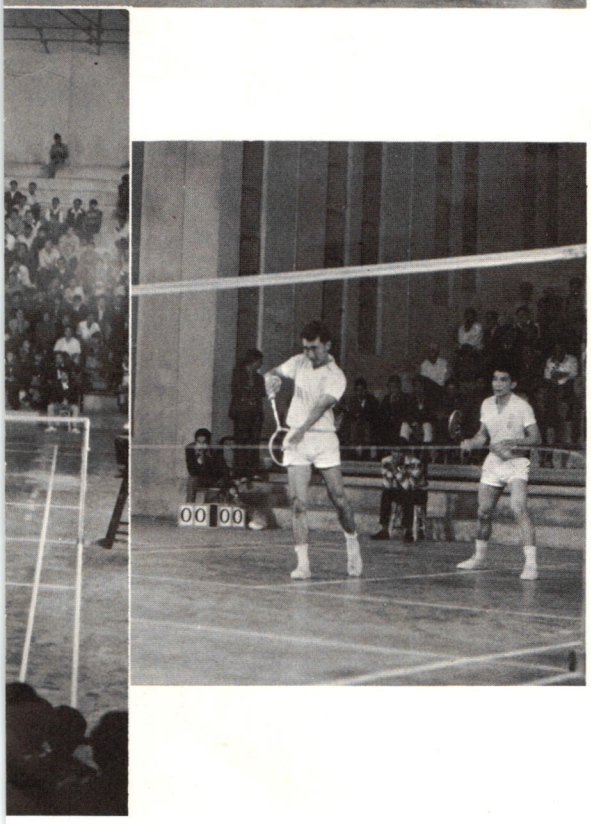
スマッシュを捕える打点も高くそれにともない、ジャンプ力も抜群。ダブルス・プレーにつきもののドライブ、中間ボールなどの細かいストロークをせずスマッシュは、ほとんどバックラインへリターンしている。

このようなプレーを見ているとまったく基本練習の延長のごとくで、体力が十分あるがゆえに、迫力のあるプレーができるのだと痛感した。

自分自身のプレーを考えてみても、調子がよい時は、常に先手をとり、スマッシュを打つ数（機会）が多い。これを考えると〝攻撃は最大の防禦なり〟という言葉がずばり当てはまるようだ。いずれにせよ、中国の練習量は豊富で、一日四、五時間という。これだけ激しいプレーができるのも、なるほど、とうなづける。

中国を迎え、日本出場選手が自己のベストで戦うことができなければ、とても好試合は望めないだろうし、今後の日本の強化や進路を考えるとき、大いに相手から吸収し、役立てる心構えを持たねばならないと思う。





ケタはずれのパワー中国の

実力世界一？日

マレーシア（世界二位）を寄せつけず
対デンマークでは男女ともに完勝飾る

中国バドミントンが強いことは、右ページの小島一平君の報告にもあるとおりで、その片リンについては、先にネパールで対戦した日本勢男子も感じとってきている（本誌既報）が、さらに日本にショックだったのは中国がマレーシアにも楽勝した事実だろう。

マレーシアが中国に招待されたのは昨年十一月下旬。トマス杯アジア予選で日本を5－4と押えて帰国してから間もなくである。

マレーシアは、ご承知のとおり、インドネシアについで世界ランキング2位。ライバルからトマス杯王座を奪回すべく、意気盛んであった。その前衛戦という意味合いもかねて、P・グナラン、タンアイク・モンらのベスト・メンバーを揃えて遠征した。

ところが第一日のシングルスでグナランが中国1位の侯加昌タンアイク・モンが同2位の湯仙虎にゲーム5点どまりでの完敗。わずかにダブルス一試合を確保しただけだった。

第二日の記録詳細は不明だが結局、中国が7－2で勝ったと伝えられる。

▽第一日成績

○侯　加昌（15－3 15－5）グナラン

○湯　仙虎（15－5 15－2）タンアイク・モン

呉　俊盛（17－15 12－15 7－15）ウンブン

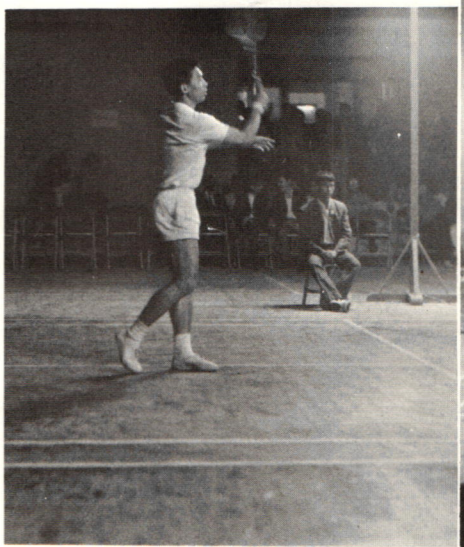
陳　天祥（7－15 15－10 15－12）ビー、グナラン

○侯　加昌（15－10）タンアイク

○湯　仙虎（15－12）ハン、ウン タイワイ

そのほか中国は一月初めにデンマークを訪れ、男女ともにナショナル・チーム同士で対戦したが、いずれも10－0での完勝ハルトノ（インドネシア）と互格の力を持つデンマーク1位のプリも問題にならなかった。







IBF「中国加盟」は認めず

日本など共同提案を「台湾除外の理由なし」と

IBF（国際バドミントン連盟）は七月三日、ロンドンで行なわれた七三年度の年次総会で「台湾除外、中国招請」という日本、パキスタン、スリランカ（前セイロン）の共同提案を否決した。

現在、IBFには台湾が加盟しており、中国は一度もメンバーとなったことはない。しかし日本はさる一月の日中交流協定（会談紀要）で、中国バドミントン界を代表するものは、中華人民共和国バドミントン協会であり、日本は、今後、同協会の正当な権利の回復（IBFへの加盟）のために努力することを確認している。

折りから、日本スポーツ界（日本体協、JOC）は、中華人民共和国体育総会が中国を代表するスポーツ統括組織と認め、これをIOC（国際オリンピック委員会）と各IF（国際競技連盟）に通知、この考えに同調するように呼びかけた。

このような事情もからんで、日本バドミントン協会は二月二十二日付けでIBFに、別記のような「中国招請」の提案を送付した。

前年、すでにこの問題についてはカナダなど数カ国から提案される、との推測がなされたが実際には立ち消えになった。今回はパキスタン、スリランカと日本の三カ国が初めて共同提案したわけで、バドミントンの世界にとっては画期的なことである。

× × ×

年次総会には三十三カ国代表が出席した。日本代表の高倉正治理事（日本協会副理事長）は提案理由を説明し「中華人民共和国協会が全中国のバドミントン競技を有効に支配していると日本協会が確認したので、台湾を除き、中国を連盟に招請すべきである」むね述べた。

これに対して、インドなどが賛成意見を述べたが、台湾や英国などの代表が、加盟国追放の規定は連盟規約にないとして反対。挙手による表決を行なった結果、ソネビル会長（インドネシア）が、提案に対する賛成は約二割と認めて討議を打ち切った。

これについて高倉理事は「台湾が連盟にとどまる限り、アジア選手権大会は引き受ける国がなくなって、開催が難かしくなるだろう。そうしたことから、今回は否決されたものの、二、三年のうちには総会の空気も変わるだろう」と語った。

（この項ロンドン共同電）

台湾に関係なく加盟は歓迎

IBFの基本的態度

IBFは総会で台湾除外、中国招請の提案を否決したが、これは中国の加盟そのものに反対しているわけではない。

一月十二日の外電によるとIBFのシェラー名誉主事は「中国が動きを見せてくれなくてはどうにもならない。申し込みがあれば各国に通知、二カ月以内に反対がなければ承認される。IBFは政治組織ではないから台湾を除外する理由はない」と述べ、一月二十二日発外電もソネビル会長の談話として同様の趣旨の意見を公表している。これが基本的な態度のようだ。

一九七三年国際バドミントン連盟年次総会提案事項

現在、国際バドミントン連盟に「中華民国バドミントン協会」が中国を代表する組織として存在するのは、不自然、かつ、不適当であるので、国際バドミントン連盟における中国問題についての正しい解決を図ることが必要と考え、日本バドミントン協会は次のごとく提案する。

＊ ＊ ＊

日本バドミントン協会は、全中国バドミントン競技会を代表する唯一の全国的な統括団体が「中華民国バドミントン協会」ではなく「中華人民共和国バドミントン協会」であると確認した。よって「中華民国バドミントン協会」を除籍し「中華人民共和国バドミントン協会」を国際バドミントン連盟に迎える。

以上を一九七三年国際バドミントン連盟年次総会にて、審議願う次第である。

一九七三年二月二十二日

日本バドミントン協会

インドネシア×中国戦実現？

11月末に香港で国際オープン大会

十一月末に香港で大規模な国際オープン・バドミントン大会が開かれることになった。この大会は香港羽毛球総会が主催するもので、当初は四月～六月ごろに予定されながら、種々の事情で延びた。

日本協会に届いた手紙によると、これには中国が招待されているほか、一九六五年以来、中国との国交が凍結しているインドネシア、台湾承認国のタイにも招待状が送られており、両国の反応が注目されている。

このほか、日本（参加を考慮している）マレーシア、デンマークなど、アジア、欧州十カ国のトップ組が見込まれている。アジアでこれまで開かれている地域を越えた国際トーナメントは、昨年の第一回世界男子招待大会ぐらい。実現すれば内容的には世界選手権よりも密度の濃いものになりそう。

実施種目は男女シングルス、同ダブルスの4種目で、期間は約二週間となっている。

インドネシアは、政治上の問題はともかく、バドミントンの分野では中国との対戦を歓迎しているはずで、さる一月、同国協会スジルマン会長は「われわれは世界の〝大部分〟のNO1ではなく〝全体〟の王者になりたい。中国と中立国で対戦できればうれしい。政治的圧力がかかるかもしれないが、全力をあげて障害を排除したい」むね述べている。

第二の〝ピンポン外交〟展開か

この香港国際オープン大会に関連して、日中文化交流協会の村岡久平事務局次長は「従来、中国と仲の悪かったインドネシア、タイが参加すれば、画期的なことになろう」と語り「バドミントンが〝第二のピンポン外交〟になり得る性格を持っている」と見ている。

これについては朝日新聞・吉田北京特派員が正月四日の夕刊ですでに、中国の本年の動きを予測し、大要、次のように述べているのは興味深い。

「今年は中国がアジア外交の一環として〝ピンポン外交〟に続く〝バドミントン外交〟の展開をめざしている。インドネシア、マレーシア、タイは世界でも屈指の選手を持ち、日中の力も伯仲している。そこで中国は〝バドミントン外交〟で東南アジア諸国との新しい関係打開のための突破口をつくろうとしている」

IBF（国際バドミントン連盟）加盟国及び地域（72年度）

①オーストラリア
②オーストリア
③ベルギー
④ビルマ
⑤カンボジア
⑥カナダ
⑦スリランカ
⑧台　湾
⑨チェコスロバキア
⑩デンマーク
⑪イングランド
⑫フィンランド
⑬フランス
⑭東ドイツ
⑮西ドイツ
⑯香　港
⑰ハンガリー
⑱アイスランド
⑲インド
⑳インドネシア
㉑アイルランド
㉒ジャマイカ
㉓日　本
㉔ケニア
㉕韓　国
㉖マレーシア
㉗メキシコ
㉘ネパール
㉙オランダ
㉚ニュージーランド
㉛ノルウェー
㉜パキスタン
㉝ペルー
㉞フィリピン
㉟ポルトガル
㊱スコットランド
㊲シンガポール
㊳南アフリカ
㊴スリナム
㊵スウェーデン
㊶スイス
㊷タンガニカ
㊸タ　イ
㊹トリダッドドバゴ
㊺ウガンダ
㊻米　国
㊼南ベトナム
㊽ウェールズ
㊾ザンビア
（ＡＢＣ順，以上49）

仮加盟メンバー

①バハマ（ナサル協会）
②バーレイン（アワリ・クラブ）
③バーレイン（バーレイン・スポーツ・ク）
④バミューダ
⑤サイプラス（デケリア・クラブ）
⑥フォークランド諸島（スタンリー協会）
⑦ジブラルタル
⑧イスラエル
⑨クエート（フバラ・クラブ）
⑩ラオス
⑪マラウイ
⑫マルタ
⑬モーリシャス
⑭モザンビーク
⑮ベネズエラ
⑯ユーゴスラビア（スロベニア協会）

開かれた新しい歴史の扉

会談紀要に調印　日中交流が実現



会談紀要に調印，文書を交換する川端氏（左）と郭雷氏。

ついに新しい歴史の1ページが開かれた――日中両国のバドミントン競技交流について会談するため、日本バドミントン協会の川端昇市理事長、菊地利明常務理事（いずれも当時）は、中国の招きにより、さる一月訪中、同十三日、北京飯店で、その結果をまとめた会談紀要に調印した。これによりバドミントン史上初の日中交流が正式決定し、中国の九月来日、日本の十一月訪中が決まった。

この一月の同時期にはスケート、アイスホッケー両競技の日本代表も訪中し、同じく調印した。その後さらに体操、サッカー、バスケットも交流に同意、あるいは親善競技のために訪中しており、卓球に始まり、バレーボールが続いた両国のスポーツ交流は9種目に広がった。

中国、IBFへの加盟実現で協力を要請

調印に先立ち、会談は二回にわたって行なわれた。日本側代表としては、日本協会の両氏のほか、日中文化交流協会の村岡事務局次長が同席した。

日本側の原則的な考え方は、すでに昨年十月、文書で訪日バレーボール・チーム首脳を通じ中国側に渡してあるので、会談は主として中国のIBF加盟問題と、両国の具体的な交流の日取りに焦点がしぼられた。

第一回会談は一月十一日午後約二時間にわたって行なわれ、中国側代表として、朱仄中華全国体育総会責任者、孫平化中国人民対外友好協会代表、中国羽毛球（バドミントン）協会責任者郭雷氏の代理として王氏が出席した。

本題に入って、中国側はまず①中国はIBFへの加盟を希望している。②従って問題は現在、台湾がIBFに加盟していることだ。と述べた。そして、これについて「台湾は中国の一つの省であり、その省が中国を代表して加盟しているのはおかしい。日本側がIBF加盟は、必ずしも国ではなく、地域別であると説明しているのはよく理解しているが、それならば、順序としては中華人民共和国が正式に加盟するのが先決である。その後に、台湾が台湾省として入るのならば問題ない。まず台湾をIBFから出すのが正しい」との見解を示した。

これに対し、日本側は、中国の考え方はわかったが、加盟の実現は必ずしも簡単ではないことを説明した。（注、IBFの加盟取消については¾の賛成票がないと不可能）

第二回会談は翌十二日午前、引き続き北京飯店で約二時間にわたって行なわれた。中国側はIBFの諸情勢について、入手している情報を説明。

「72年IBF総会でセイロンが中国加盟（即ち台湾取消）を提案したが、会議には実際は出

されなかった。台湾自身が反対し、英国、ベルギーがこれに同調し〝提案不備〟で却下されたからだが、現在、情勢は大きく変化しつつある」

これについて日本側は、「まだ日本はIBFでリーダーシップをとるほど発言力が強くない。しかし、友好諸国と連絡をよく取り合い、中国の希望実現に努力する」と答えた。

ついで交流の協議に移り、日本側としては前日の提案の線を再度、押した（四月中国来日、八月日本訪中）。

中国は第一回会談で各種スケジュールを説明の上、四月日本訪中、八月中国来日を提案していた。しかし、日本側が「とにかく来日をまず実現してほしい」と重ねて強調したため「九月か十月の訪日、その後、年内に訪中」の線を出した。そこで日本国内の年間予定などを説明してさらに時期を煮つめ「九月中国の来日、十一月日本の訪中」がまとまった。

日本バドミントン協会 日本中国文化交流協会 中国バドミントン協会 中国人民対外友好協会の会談紀要

日本バドミントン協会理事長川端昇市、常務理事菊地利明、日本中国文化交流協会事務局次長村岡久平は、中華人民共和国バドミントン協会と中国人民対外友好協会の招きによって、1973年1月9日から1月16日にかけて中華人民共和国を友好訪問し、中華人民共和国バドミントン協会、中国人民対外友好協会代表郭雷、孫平化と友好的な会談をおこなった。

双方は1972年9月29日の日中両国政府の共同声明の精神にもとづいて、日中両国バドミントン界の交流を積極的におこなうことを表明した。

双方はつぎのような合意にたっした。

一、日本バドミントン協会は中華人民共和国バドミントン協会が中国バドミントン界を代表する唯一の全国的な協会であることを確認する。これにもとずいて、日本バドミントン協会は中華人民共和国バドミントン協会の国際連盟における正当な権利の解決をはかることが必要と考え、そのために努力する。中国バドミントン協会はこれにたいし賞讃の意を表明した。

二、中国側は中日バドミントン界の交流の発展は両国人民の共同の願望に合致するものであると考える。中華人民共和国バドミントン協会と中国人民対外友好協会は、日本バドミントン界、日本中国文化交流協会ならびにその他の友好的な人士が中日バドミントン界と両国人民の友好を増進し発展させるためになされた努力に感謝する。

三、双方は、日中両国バドミントン界の友好往来を推進するために、日本側は、日本バドミントン協会と日本中国文化交流協会とが協力し、中国側は、中華人民共和国バドミントン協会と中国人民対外友好協会とが協力するものと考える。

両国のバドミントン界の交流計画については、日本バドミントン協会が1973年9月に中国男女バドミントン・チームを日本に招請し、中華人民共和国バドミントン協会が1973年11月に日本男女バドミントン・チームを中国に招請することに双方は意見の一致をみた。

日本バドミントン協会　川端昇市　菊地利明

中華人民共和国バドミントン協会　郭雷

日本中国文化交流協会　村岡久平

中国人民対外友好協会　孫平化

1973年1月13日　北京にて



你好



中国人のこころ・人柄

以下は、さる日の朝日新聞に掲載されたものの中から、要旨の抜すい——

☆

日本人には順番にものを片ずけ、過ぎ去ったことはすぐ忘れてしまう、あるいは過去を思い返しても仕方ない、といったところがある。

中国人は違う。しつこい。その背景には、ものごとが依然として続いている、という認識がある。もう一つ、過程を重視する。

（作家・陳　舜臣さん）

☆

魯迅は戦前、こう書いた「日本人ほど、結論を好む民族…結論を得ないと、どうしても気がすまない民族は少い…」この結論主義とでも呼ぶべき考え方はいまも日本人の間に支配的だ、と陳舜臣さん。

☆

同文同種とはいうけれど——中国を語る場合に、よく、こんな言葉が引き合いに出される。確かに、日本人は中国からその昔に移入した漢字を使っているが、しかし、同民族ではない。ということは、風俗も習慣も、従って、ものの考え方もちがうことを意味する。中国チームの

同文同種の両国は兄弟という感じだ。だが、わかっていないと感ずることもある。

たとえば、中国でしきりにいっている〝人民に服務する精神奉仕する精神〟です。これを日本の人は、戦時中の「滅私奉公」と同じ、と受け取りがちだが、全然違うんです。滅私奉公は上に対する奉仕のための自己犠牲だった。服務する精神は、みんながよくなろう、ということです。（東京華僑総会副会長・黄文欽さん）

☆

中国へ行って一番驚いたことは、学校で試験の答案を見せ合い、教え合っていたことです。一人の秀才をつくるよりも、みんなが出来るようになろうという考え方が、ごく自然に身についている。日本の競争社会ではとても考えられない。

それに道に落ちている紙クズを拾うというようなことも、ごく自然に行なわれている。社会体制の相違を越えて、こうしたものの考え方は、影響を及ぼさずにはおかないでしょう。

（日中文化交流協会事務局長の白土吾夫さん）

☆

かけひきや、抽象的なうたい文句では通用しません。ウソをつかない、ごまかさない、ことが二大鉄則です（白土さん）

☆

中国人はエゴイストではありません。クツ一足をあつらえても、入念に仕上げてくる。戦後の日本が失いかけている美しいこころが脈打っています。

（戦後、在中十年の主婦）

ことばの問題——同語異義

中国語の発音はとてもむずかしい。文字で書いただけではもちろん、十分ではないが、知らないよりはまし。

・你好（ニイハオ＝今日は）
・你早（ニイツァオ＝お早よう）
・你去休息吧（ニイチュイシユウシィパ＝おやすみ）
・再見（ツァイチェン＝さようなら）
・对不起（トイプチィ＝すみません）
・谢谢你（シェイシェイニィ＝ありがとう）
・不謝（プウシェ＝どういたしまして）
・好（ハオ＝よい）
・不好（プゥハオ＝悪い）
・早（ツァオ＝早い）
・晚（ワァン＝遅い）
・大（タァ＝大きい）
・小（シィオ＝小さい）
・多（トゥオ＝多い）
・少（シャオ＝少ない）
・我（ウォ＝私）
・你（ニィ＝あなた）
・他（タァ＝彼）
・今天（チンティエン＝今日）
・明天（ミンティエン＝明日）
・昨天（ツオィティエン＝昨日）
・是（シィ＝はい）
・不（プウ＝いいえ）
・这（チョ＝これ、この）
・那（ナ＝それ、その）

的。
签字仪式后，国家体委主任王猛，
委负责人李青川会见了日本朋友，同
们进行了友好的谈话。
日本朋友是应邀前来我国进行友好
问于一月十日到达北京的。

羽毛球协会、

织签署会谈纪要

人民共和国羽毛球协会在国际羽毛球
合会的正当权利，并将为此作出努力。
华人民共和国羽毛球协会对此表示赞
。双方认为，为了推动中日两国羽毛
界的友好来往，日本方面，日本羽毛
协会将同日本中国文化交流协会合
；中国方面，中华人民共和国羽毛球
会将同中国人民对外友好协会合作。
签字仪式后，国家体委主任王猛、
委负责人李青川会见了日本朋友，同
们进行了友好的谈话。
日本朋友是应邀前来我国进行友好
问于一月十日到达北京的。

うけれど

来日も近い。いまからでも遅くはない。少しでも中国のことを知ろう。もちろん、この誌上だけで、わかった気になるのでは困る。これを勉強のきっかけにしてもらいたいということだ。

以下、特に断わりのないものは「中国雑学事典」（東京スポーツ新聞社」刊）を参考にした。

・哪（ナァ＝あれ、あの）
・多少銭？（トゥシャオチェン＝いくら？）
・什么？（ションマ＝なに？）
・什么人？（ションマレン＝なんの仕事？）
・什么時候？（ションマシィホゥ＝いつ？）
・怎么？（ツァンマ＝なぜ？）
・几个？（チィコ＝いくつ？）
・多少？（トゥシャオ＝いかほど？）

スポーツ・体育・施設

スポーツについては、本誌でも何度か折りにふれて紹介しているので、ここでは特に盛んな五球（ウーチウ）といわれる球技の呼び名を紹介しよう。

・羽毛球（ユイマオチウ）いわすと知れたバドミントン
・乒乓球（ピンパンチウ）卓球
・籃球（トフンチウ）バスケットボール
・足球（ズウチウ）サッカー
・排球（バイチウ）バレー

ところで、北京には世界有数の体育施設がある。

首都体育館→一万八千人収容
中国最大。球技のほかアイスホッケー、スケートができる。暖房、空調などが完備、テレビ放映室、放送室、記者室もある。

北京工人体育館→一万五千人収容、卓球世界選手権の会場となった。

北京工人体育場→十万人収容
陸上、サッカーができる。展示ホール、映画館、レストラン、売店、千五百人収容の宿舎、外側にはプールやスケート場になる人工湖まである。

北京体育館→六千人収容、練習場、室内プールも完備。

先農壇体育場→中国で初めて夜間照明をつけたことで知られるサッカー場、バレー、バスケットコートも付設。

什利海体育場→三千人が泳げる遊泳場。冬にはスケート場に変わる。

いわゆる体育教育、活動も当然、さかんで、毛主席も、三好（身体好、学習好、工作好）の一つにあげて奨励している。

青少年課外体育学校は全国に千カ所以上あるといわれ、専属のコーチだけでも二千人以上。五球のほか水陸が中心で、放課後や夏冬の休みに行なわれるが三自願といって、本人、父兄、学校の三者が希望し、しかも本人の条件（成績、品行など）を考慮して入学を許す。卓球の世界チャンピオン荘則棟選手はこの出身。

練習のスローガンとしては、いわゆる三従一大（サンツォンイーター）がある。これは「実践、困難、厳格の三つから出発して練習量をふやす」ことをいいバレーボール〝東洋の魔女〟の大松式しごきも この精神に合う（周首相）とのこと。

年少者の道徳教育は

年少者の道徳教育はあらゆる教科、機会を捕えて行なわれている。

小学生守則（日常規律）①校長及び先生を尊敬する②友人と友愛団結し互いに助け合う③父母を敬愛し、兄弟姉妹いつくしみ合い、父母の手助けをする。④老人を尊敬し、老人、子供、病人には親切にする⑤他人には礼儀正しくする⑥公共財産を愛護する。

五愛三好。青少年のモラルの基本。五愛は祖国、人民、労働科学、公共財産を愛すること。三好は前述の如くで、からだを鍛え、よく学習し、社会活動にはげむこと。

あらゆる場でこの基本が教えられているので、公園で遊んだあとも必ず掃除して帰るし、食べものもムダにしない。

数字でながめる

中国は広く大きい。人口は世界の約四分の一で七億五千万。もちろん世界一。国土は日本の26倍近く、世界第3位。いわゆるGNPについては、はっきりした数字がないが、外務省中国課の統計によると70年で約七百五十億ドル、カナダについで世界第9位ということになる。

人口の約94パーセントが漢民族。少数民族は6パーセントといっても三千五百万人いる。気温の差も激しく、北京の冬は氷点下20度を越し、夏は40度近い。通貨は一元（約136円）＝十角＝十分が単位。


发展中日两国冰球界的交往和共同关心的问题进行了会谈，并于今天下午签署了会谈纪要。

会谈纪要指出，为了发展中日两国冰球界的友好往来，日本方面，日本冰球联盟将同日本中国文化交流协会合

中华人民共和

日本羽毛球协会等

新华社一九七三年一月十三日讯

中华人民共和国羽毛球协会、中国人民对外友好协会代表郭雷、孙平化，同日本羽毛球协会理事长川端昇市、常务理事菊地利明和日本中国文化交流协会事务局副局长村冈久平，在十一日和十二日就积极开展中日两国羽毛球界的交往和共同关心的问题进行会谈，并于今天下午签署了会谈纪要。

会谈纪要说，日本羽毛球协会确认，中华人民共和国羽毛球协会是代表中国羽毛球界的唯一全国性协会。据此，日本羽毛球协会认为有必要谋求解决中

"同文同種"とはい

の王座に

ネヤマを降す

今後の発展に期待

――やってよかった先輩との交流――

全日本学生連盟
委員長
中村和衛

一月末に、全日本実業団連盟の方から「実業団と学生の各ベスト4チームで団体の対抗戦をやろう」という提案があった。全日本総合など、個人の日本一を決める大会はあるが、団体（チーム）の日本一を決める試合は、まだバドミントンでは行なわれていない。

そこで、この実業団×学生の新企画で、事実上の日本一を決めようというのが、申し入れの趣旨だった。そして、実業団関係者としては「ゆくゆくは教職員、高校のチームも加え、権威ある大会に盛り上げていきたい」との意向であった。

近年、学生陣の力は必ずしも社会人と互格ではない。先輩との対戦は、よい勉強になるに違いない。現在、学生と社会人が対戦する機会は、全日本のほかは「社会人×学生」という小規模（五、六人ずつ）の試合だけしかない。学連としては、せっかくのチャンスなので、喜んで受けることにした。

初めての全日本実業団×全日本学生団体対抗戦は四月八日、東京・千代田区体育館で行なわれた。双方ともランキング・ベスト4（辞退あれば順次、繰り上げ）のチームが出場、1回戦では実業団と学生が当たる方式のトーナメント。各対抗2複3単の3試合先取で争われた。

男子は戦力的にキメ手を欠く学生陣が、1回戦ですべて敗退。準決勝、決勝は〝実業団選手権〟の再現となった。決勝は電電東京×トヨタ自工が対決、電電が、帰りの列車時間の気になるトヨタを僅差で破って優勝した。

女子は逆に学生陣が豊富な持ち駒にモノをいわせた。実業団は、ヨネヤマが残っただけ。そのヨネヤマも相沢・竹中だけが得点源とあって、1、2回戦とも3－2の辛勝。決勝では本調子にほど遠い相沢が1敗したことが明暗を分け、二年生で固めた日体大が王座についた。

午前九時からまる十二時間余というロングランの大会で、役員、選手とも最後はバテぎみの表情だったが、それだけ試合の内容もよいものが多く、両者の交流は、今後に格好の刺激を与えた。開催時期や方式を再検討の上、発展を望みたい。

開催予定時期が四月早々。ちょうど新年度になったばかりで学生としては卒業生を送り出した半面、新入生でアナがカバーしきれない時である。そこで「卒業生をメンバーに加えてよいか」を話し合ったが、結局、実業団側の意見を入れ、加えないことにした。

結局、男子の場合は、トップクラスの卒業生が、実業団の即戦力となっているのに、学生側はどのチームにもエースを欠き、この差が、勝敗に顕著に現われたようだった。

しかし、女子の方は学生が善戦した。全英ダブルス・チャンピオン相沢・竹中を持つヨネヤマラケットを、次代を背負う西尾、秋本らの日体大が破り、優勝した。若い力の活躍は、学生界のみならず、日本のバドミントン界にとって収穫だったと思う。

団体戦は、個人の場合と違って、チーム力（持ち駒）がモノをいうし、それだけに、チームの名誉とか栄光を背景に、選手の気合いの入れ方も、一段とすごく、エキサイトして好試合が多くなる。

時期、参加チーム数、棄権者が出たことなど、多小の問題は残ったが、これは次回以降に研究すればいいこと。とにかくやってよかった、というのがみんなの気持ちだろう。将来の権威ある大会をめざす第一歩、テストケースとしては立派に成功したと思う。

両者の交流を深めながら、この大会が発展し、確固たる地歩が築き上げられるように、日本協会をはじめ、各関係連盟のご協力を切にお願いしたい。

力の差、男子学生は1回戦で姿消す

▽……男　子……△

◇1回戦

高岡市役所　5－0　早稲田大

○河　村　（15－11）　折　井
○今　泉　（15－6）　松　口

○関　村　（15－10）　本　間
　牧　野　（15－1）　土江田

○京　田　（3－15　15－2）　松　口
　（15－6）

○今　泉　（15－2　15－11）　土江田

○宮　林　（18－14　15－4）　本　間

トヨタ自工　3－2　法　政　大

○本　間　（15－6　15－5）　下　田
　谷　口　（15－5）　米　山

全日本実業団
団体対抗
全日本学生

電電東京が初

女子は若さの日体大，ヨ



トップの対決，河村・今泉（向側左から）×谷口（しゃがんでいる）本間組

◇2回戦（準決勝）

トヨタ自工 3－1 高岡市役所

町田	田所	○鈴木	小林	○池田	○浜谷	○田所	佐々木	○今井	○平井	○落合	○堺	宮川	今井	松島保	○本間	○谷口	松島信	松島保
15 6 15	棄権 15 8 15	7 15 15	15 11 15	15 8 15	15 9 15	15 12 15	15 8 15	6 15 15	15 15 7	15 10 15	15 15 9	15 15 9	15 7 15	17 15 2	4 15 15	15 7 15	15 15 8	11 2 15	15 8 15
遠藤○	土田○	飯野	村谷	舟山	土田	飯野	武藤○	桐生	佐藤利	志子田	桐生	佐藤欽	高橋○	巽○	斎藤	中井	巽	森田○	

電電東京 3－2 日本大

カワサキラケット 3－2 日本体育大

○本間 谷口 15－10 15－5 河村 今泉
松島保 松島信 4－15 6－15 関村 牧野○
○谷口 18－14 15－6 今泉
○本間 15－3 15－3 牧野

第1ダブルスと第1シングルスの明暗がそのまま勝負に結びついた。

第1ダブルスのトヨタ、本間・谷口組は、社会人一年生の谷口に甘さが見られ、サーブ、レシーブ、リターンともに、しばしば相手につけ入られる因をつくったが、本間がよくカバー、結局は〝大型〟の威力で押し切った。

第1ゲーム、サーブをうまくつぶし、ネット前の押しも早く7－0とリード。河村組も積極的に打って10－10となったが本間組、前陣をよく握り、角度あるスマッシュで逃げ切る。第2ゲームは、このパワーの差がさらにはっきりし、本間組が簡単にとった。敗れはしたが、高岡ペアは、今泉のミスの少いつなぎが非常に目についた。

シングルスの谷口－今泉は、谷口が得意のヘアピンを武器にペースを握った。2ゲーム目に入り、今泉が強打で仕掛け、スマッシュの打ち合い。今泉が先に13－12とリードしたが、セッティング後は高さとパワーにまさる谷口のスマッシュがモノをいった。（学連・市原康史）

電電東京 3－1 カワサキラケット

鈴木 池田 15－10 16→17－15 宮川 今井○
○田所 浜谷 15－12－15－11 15－3 堺 落合
○池田 15－2 15－9 宮川
○田所 15－7 15－9 平井

◇決勝

電電東京 3－2 トヨタ自工

相沢スタミナ切れ、秋本に屈す

女子は学生3チームが準決へ

▽……女子……△

◇1回戦

日本体育大 4－1 北辰電機

○佐伯 古谷 18－17 15－8 高橋映 宮本
陣内 ○谷 15－11 15－3 天野 高橋美
○西尾 11－7 11－0 高橋映
北島 横田○ 11－7 9－12－9 6－11 佐伯 古谷
○秋本 宮本 11－2 11－8 天野 陣内

青山学院大 3－2 電電東京

○漆畑 鈴木 8－15 15－12 15－4 石崎 小笠原
白玖 松村 15－5 9－15 3－15 今田 坂田○
鈴木 0－11 1－11 石崎○
○白玖 今田 11－6 10－12 11－5 漆畑 鈴木
○漆畑 小笠原 11－1 11－6 白玖 今田

ヨネヤマラケット 3－2 日本女子体育大

○相沢 竹中 15－9 15－11 池田 塩崎
我妻 佐久間 6－15 6－15 石田 吉田○
○相沢 11－6 11－8 池田
○竹中 12－9 11－2 石田
佐久間 塩崎○ 4－11 2－11 石田 塩崎

東京女子体育大 3－2 百十四銀行

鈴木 池田 15－6 9－15 14－18 本間 谷口○
○田所 浜谷 15－12 15－4 松島保 松島信
鈴木 棄権 7－15 本間○
○池田 棄権 15－3 谷口 松島保
○田所 15－3 松島保

第1ダブルス、トヨタ・ペアは動きがにぶく、第1ゲームをあっさり落としたが、第2ゲームに入り長身を利したスマッシュで電電の堅いディフェンスを破り、接戦ながら取る。ファイナルは一進一退の好ラリーとなったが、10－9からトヨタ・ペアが一気に5点連取して勝つ。

第2ダブルスは逆に電電組の若さがモノをいい、第2ゲームから一方的に押しまくり快勝した。

第1シングルスは電電・鈴木が前の試合の疲労がひどく第2ゲームを棄権。第2シングルスも谷口が足のケイレンで棄権して2－2となった。勝負は最後の試合にもつれ込んだが、電電・田所が余裕ある試合ぶりで楽勝し、電電に栄冠が渡った。（学連・白鳥路雄）

外崎 長谷川 9－15 7－15 森 川東○
○名和 清水 15－4 15－11 安藤 石井
外崎 10－12 11－7 10－12 川東○
○名和 11－3 10－12 11－5 森
○木村 11－5 11－2 石井

◇2回戦（準決勝）

日本体育大 3－0 青山学院大

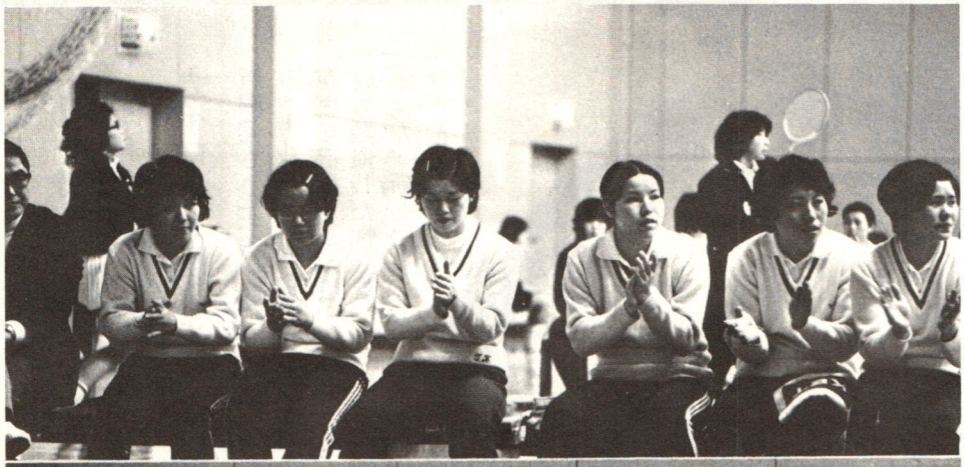
○陣内 谷 15－2 15－6 白玖 松村
西尾 ○秋本 15－3 15－3 漆畑 鈴木
○谷 11－7 11－4 白玖

第1ダブルスは互いに凡ミスが多く、あまりいい内容ではなかった。第1ゲームは日体ペアが一方的に攻めた感じ。青学組はよく拾ったが、スマッシュ・レシーブが思うようにいかず、攻め球をつくるヒマがない。第2ゲームに入って、ようやく攻撃チャンスが出たが、出だしが遅く、谷のスマッシュ、陣内のネット前のプレーが最後まで効いていた。

第2ダブルスはクリアの少いスピーディな試合。漆畑組もよく攻めてはいたが、スピードに乗り切れず、西尾組にみずから

のチャンス・ボールを上げてしまっていた。

第1シングルスはミスが多くてラリーが続かず、切れ切れの試合だった。谷は1ゲーム目でスマッシュ・ミスが多かったせいか、2ゲーム目は強打を避けクリアとドロップの単調なラリーが続いた。力の差で谷が勝ったが、年度初めの試合とはいえ双方ともに、いま一つのコントロールが欠けていた。





女子は学生陣が持ち駒豊富。ベンチは若い花ざかり（上）日体大（下）東女体大

（学連・稲田光子）

ヨネヤマラケット　3－2　東京女子体育大

○相沢	15－4		外崎
○竹中	15－7		長谷川
我妻	5－15		名和○
佐久間	11－15		清水○
佐久間	8－11	10－12	木村○
○竹中	11－8	11－7	名和
○相沢	11－9	11－4	6－11	外崎

相沢、竹中の単複3試合のうち、どれか一つを奪わなければ学生陣にチャンスはない。両者とも決して好調とはいえなかったが、歴戦の実力差でやはり押し切ってしまった。

第1ダブルスは相沢・竹中のコンビネーション・プレーとスピードが完全に東女ペアを押えた。第2ダブルスは名和、清水がコートをフルに動き、スピードのあるプレーで攻勢に立って1勝。続く第1シングルスは、木村にコースの甘さが見られたものの、佐久間のスマッシュ・ミスにつけ入り、カットで攻めて2勝目。一旦はリードした。

しかし、名和はよく攻めていいところまでは行ったが、最後竹中に要所を押えられて惜敗、最後の外崎もファイナル8オールから9－10とつめたが、相沢からあと1点がとれずに終わった。（学連・中村満子、家住みどり）

◇決　勝

日本体育大　3－2　ヨネヤマラケット

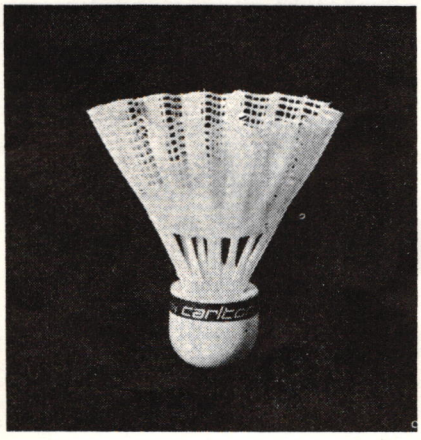
西尾	5－15		相沢○
秋本	15－18		竹中○
○佐伯	15－5		我妻
古谷	15－3		佐久間
谷	6－11	8－11	竹中○
○秋本	11－3	11－3	相沢
○西尾	12－9	11－3	佐久間

第2シングルス相沢の敗戦が日体大に優勝をもたらした。相沢は決勝へ進出するまでにスタミナを消耗して動きが悪かった。1ゲーム目、すべり出しは3－1とリードしたが、スマッシュを打っても、ネットへ返されると追いつけず、簡単にコントロール・ミスで10点を失った。第2ゲーム、相沢は深く突かれるとふんばりがきかず、よくても逃げのカットしか打てない。1－7の劣勢から一旦、立ち直り、秋本のミスを誘い出して8－9と追った。しかし、後半とくにスタミナの低下が目立ち、チャンス・ボールが上っても突っ込めない相沢は、このあとが続かず、秋本の若さと粘りに屈した。（学連・市原康史）

カアルトン ニュートーナメント は水鳥？

ナイロンを感じさせないナイロン。

新開発された、カアルトン〝ニュートーナメント〟シャトルは、ナイロンと云うよりも英国製高級水鳥シャトルに最も類似した性能を備えた、新しいシャトルです。



ニュートーナメントの特徴

●打球音が変った●ラケットから離れる感じが変った●ネットでのターンノーバ（回転）が変った●スピン●シャトルに対する視覚度（よく見える）がよくなった●飛翔のときの一貫した安定性が増加された。

メトロレジャー株式会社

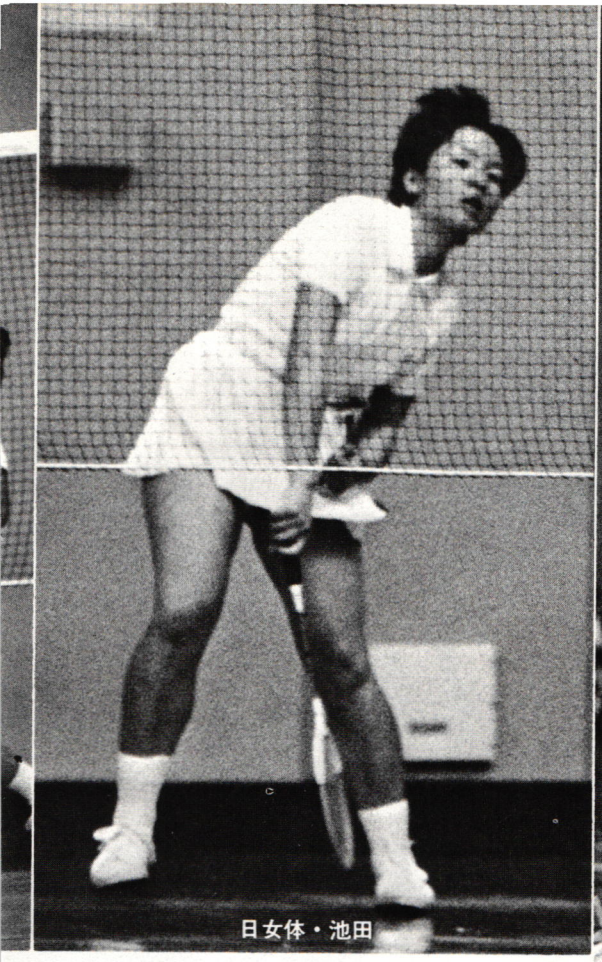
東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661（代）

天下の大物

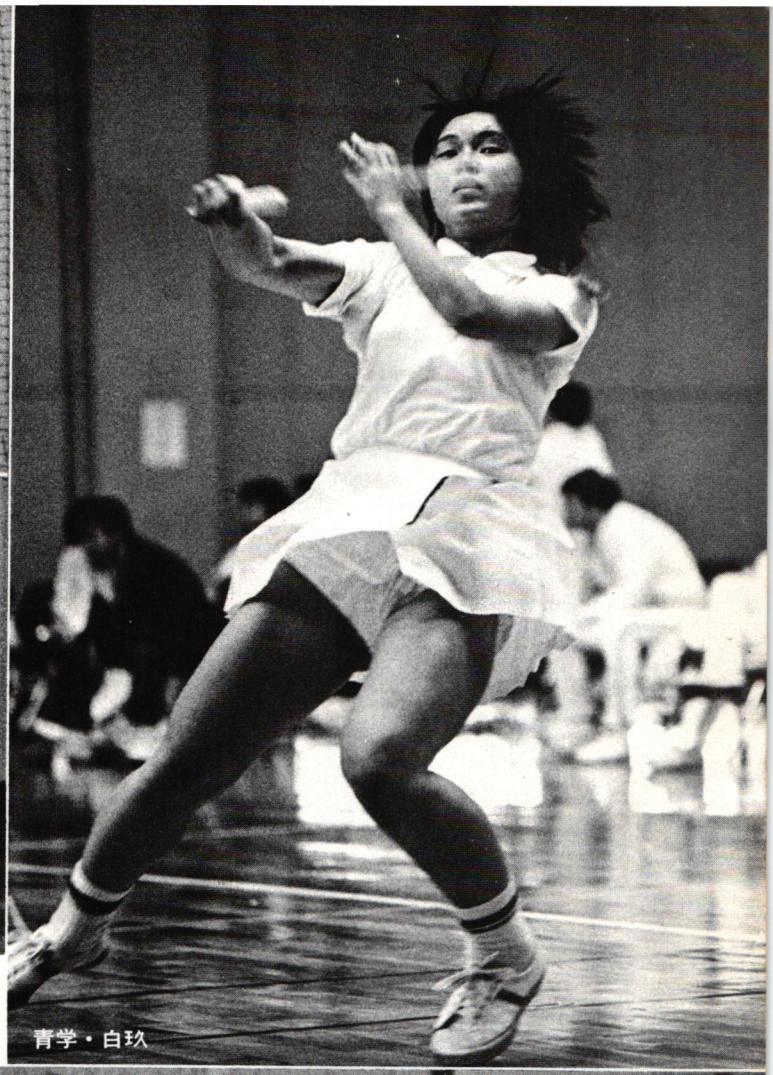
日体大・谷美津代



身長164.5，第一線で知られている選手の中では一番の大型。成安女高時代はベスト8どまりだったが，最近ようやく注目を集め出した。守りを覚えることが目下の課題。



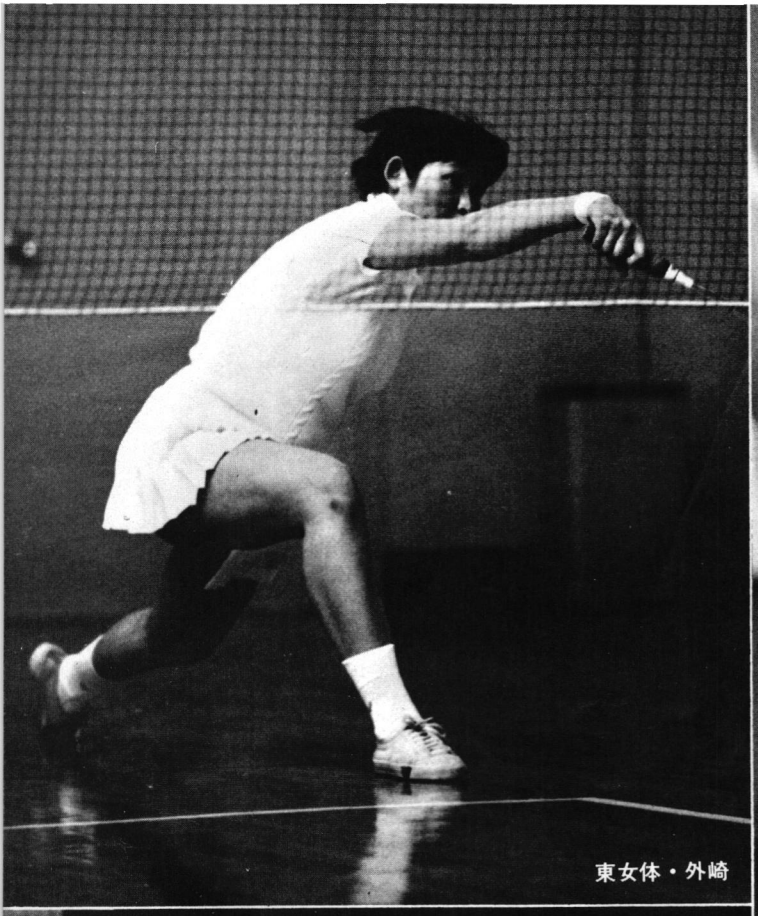
日女体・池田



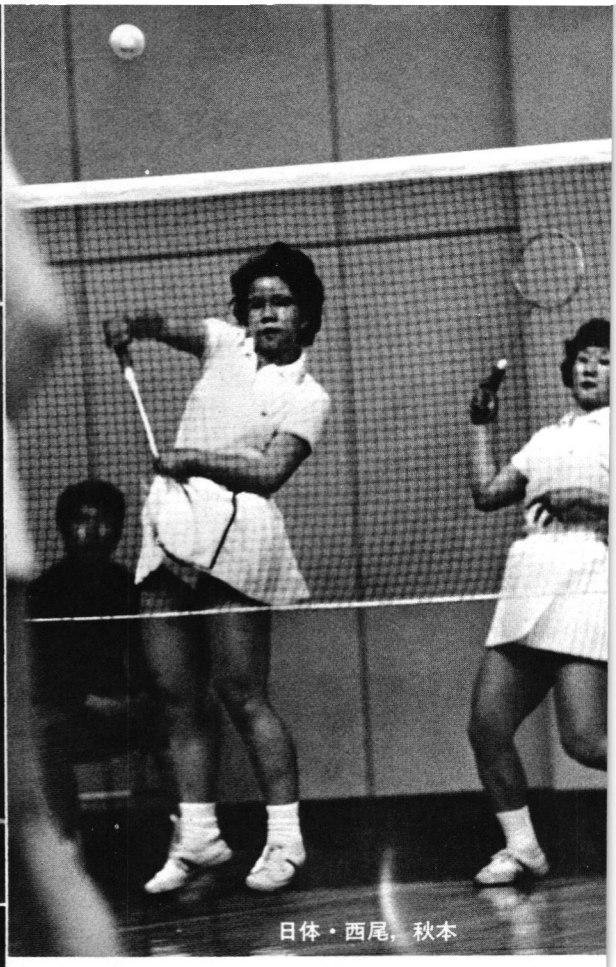
青学・白玖



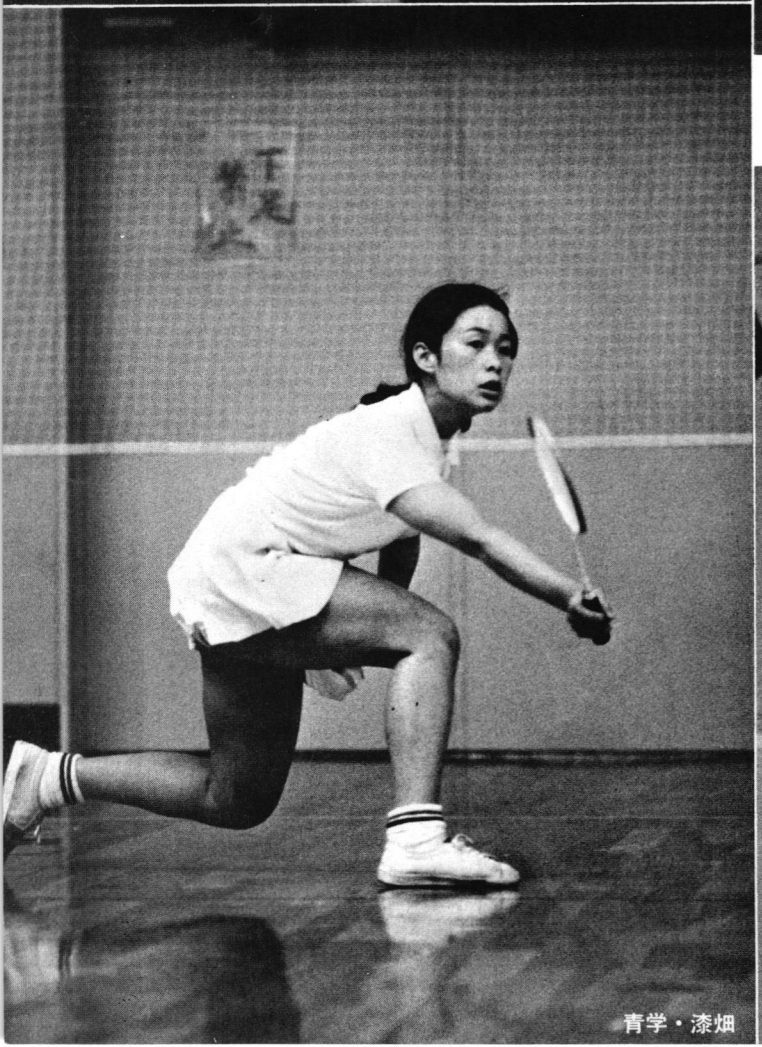
ヨネヤマ・佐久間，我妻



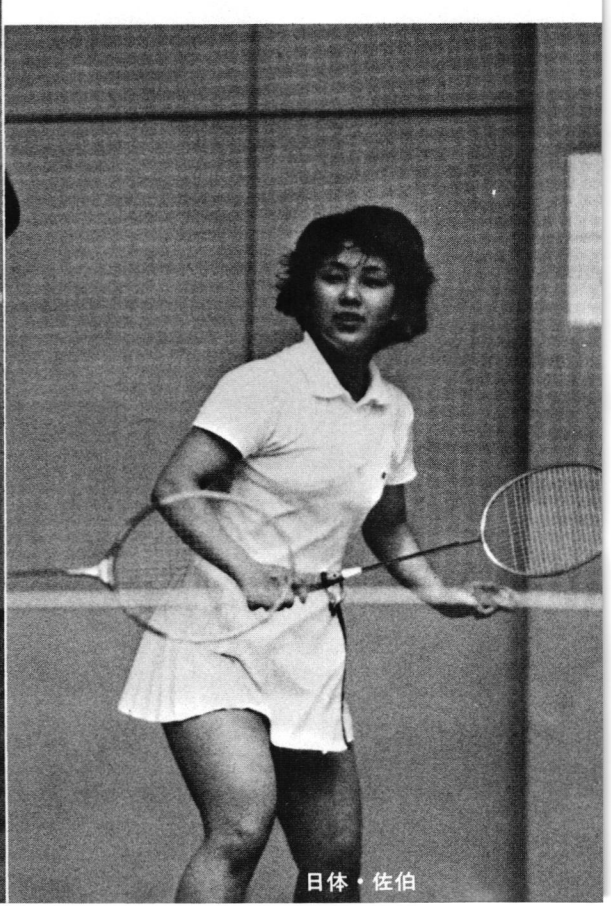
東女体・外崎



日体・西尾，秋本



青学・漆畑



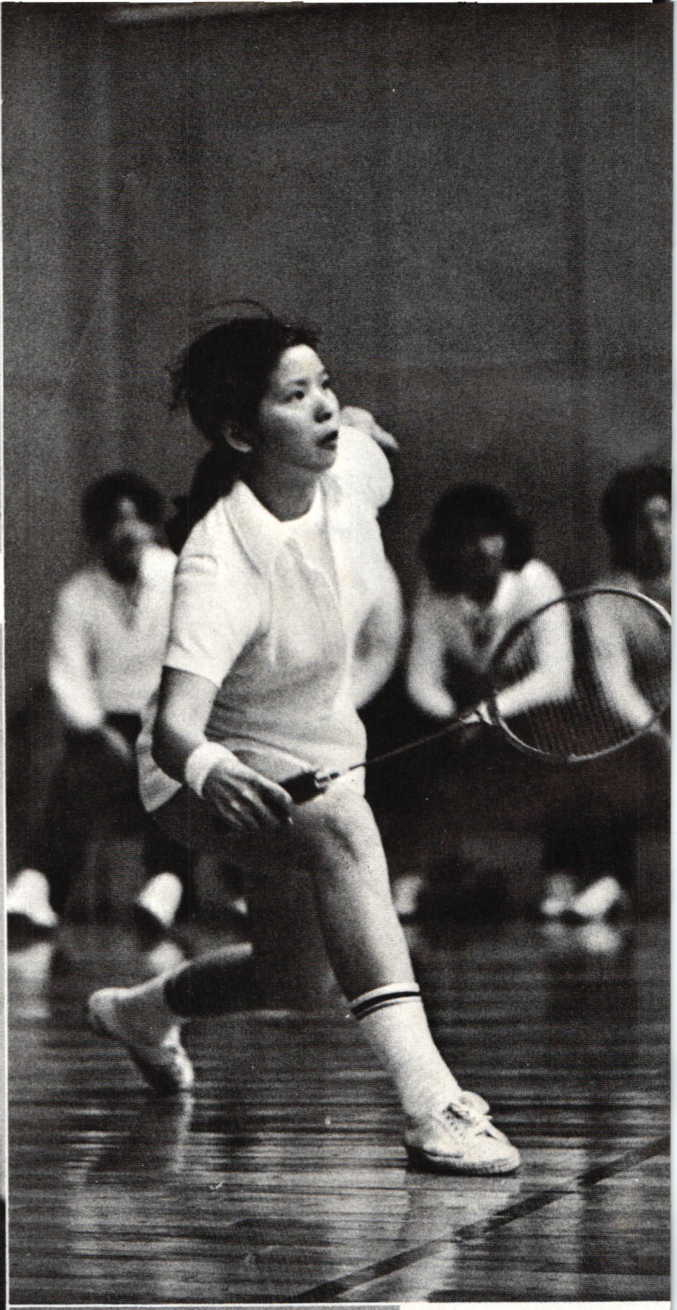
日体・佐伯

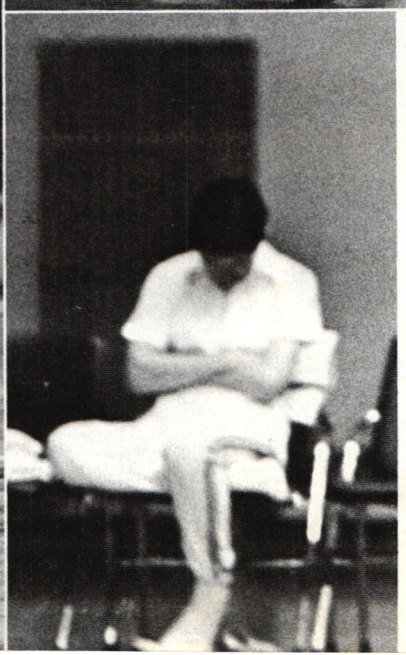




↑ 開始以来12時間余の熱戦に，スタンドもがまんできず寝ころんでの観戦。

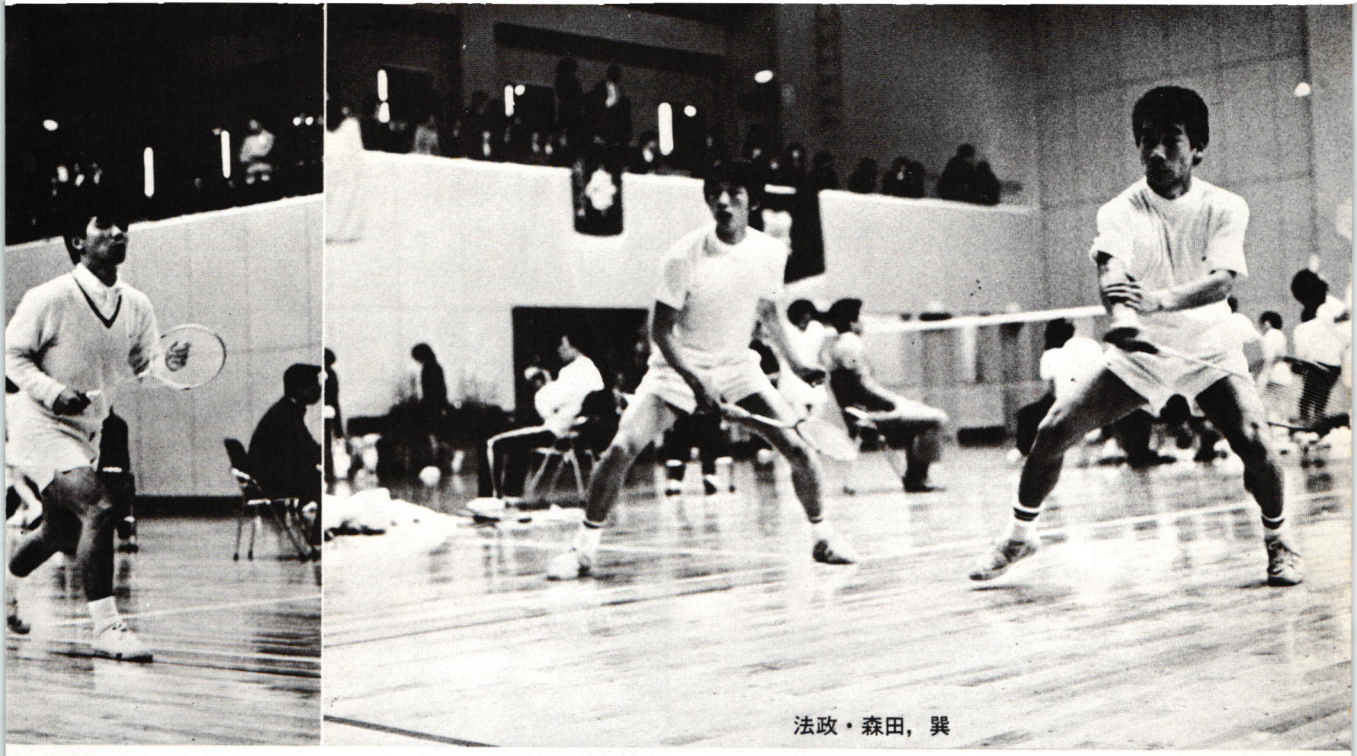






"世界ペア"不調

—でも、ちょっとだけよ



法政・森田，巽

を圧倒

男子の熱戦

将来、権威を高めて〝全日本〟にしたいという構想で始めた団体戦の実業団×学生対抗。

いささかPR不足もあり、また予想外の熱戦続きで時間を食い、男女とも決勝ごろはスタンドもげんなり、というシーンも見られたが、来年度以降の計画に大いに期待したいところ。

男子は二線、三線級のレベルアップが急務とされており、その成果いかんが、ト杯の夢につながる。とあって、今回、学生は力及ばず、実業団に敗れたがそれなりの収獲があったはず。実業団にも新卒者の加入で田所・浜谷（電電東京）や本間・谷口（トヨタ自工）という魅力的なペアが誕生、今後の国際試合の戦力として楽しみがふえたのはうれしい。

女子は学生層の厚さが証明されて心強い。たとえ、相手の不調があったにしろ、秋本（日体大）が相沢を破ったことは、若い力にとっての励みになっただろう。とはいえ、全体的に見れば学生陣、相沢・竹中のベテラン二人にひっかき回された。もうひとがんばりを望みたい。



電電東京・池田，鈴木



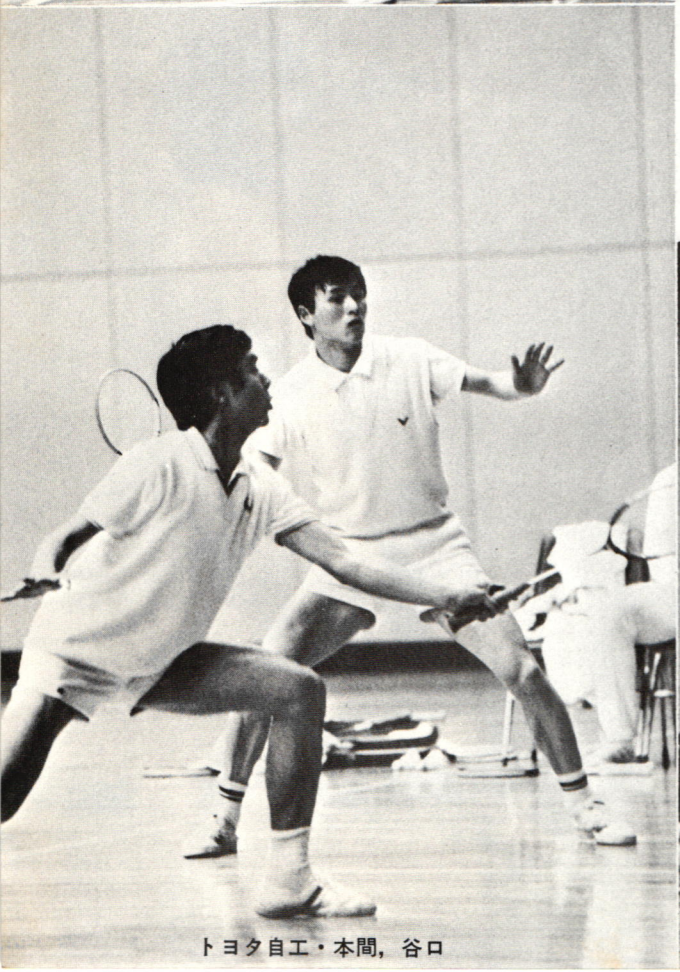
電電東京・浜谷，田所



カワサキ・堺，落合

キャリアが若さ

実業団×学生団体戦・



トヨタ自工・本間，谷口



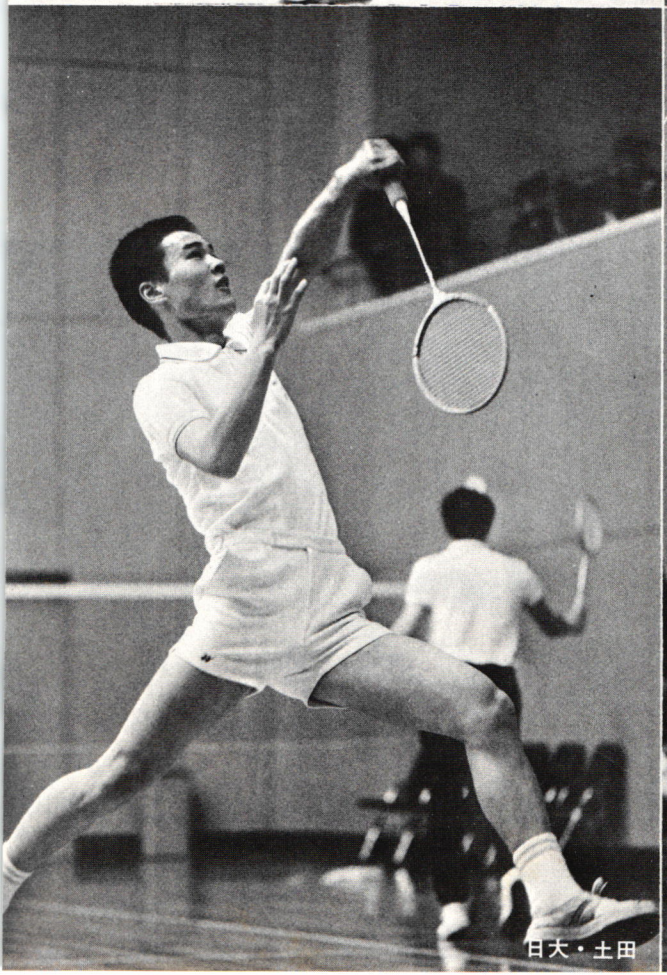
日体・桐生，志子田



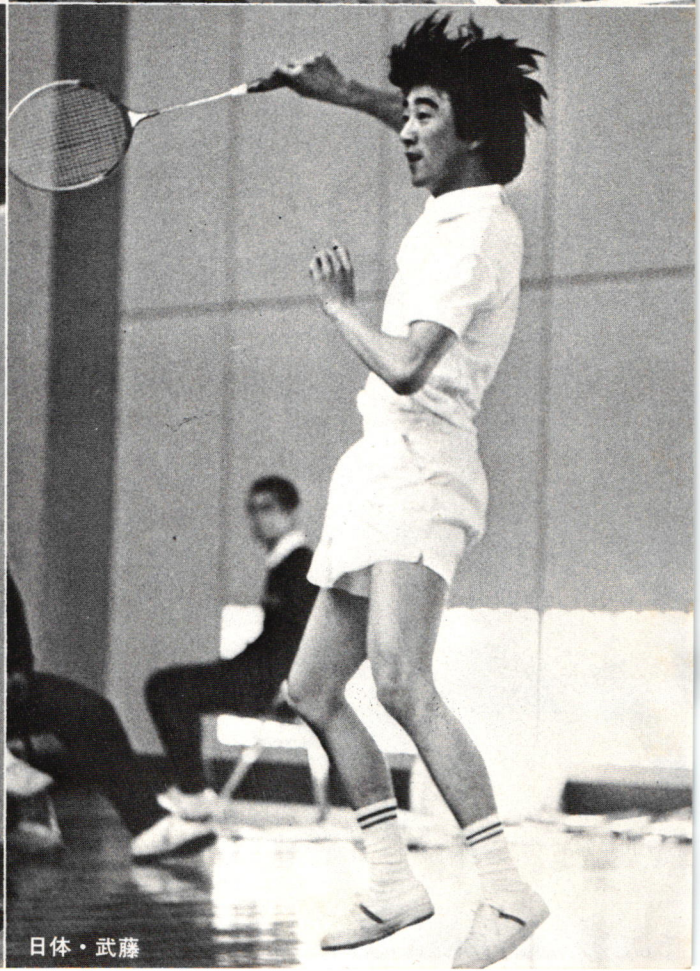
法政・中井



早稲田・土江田



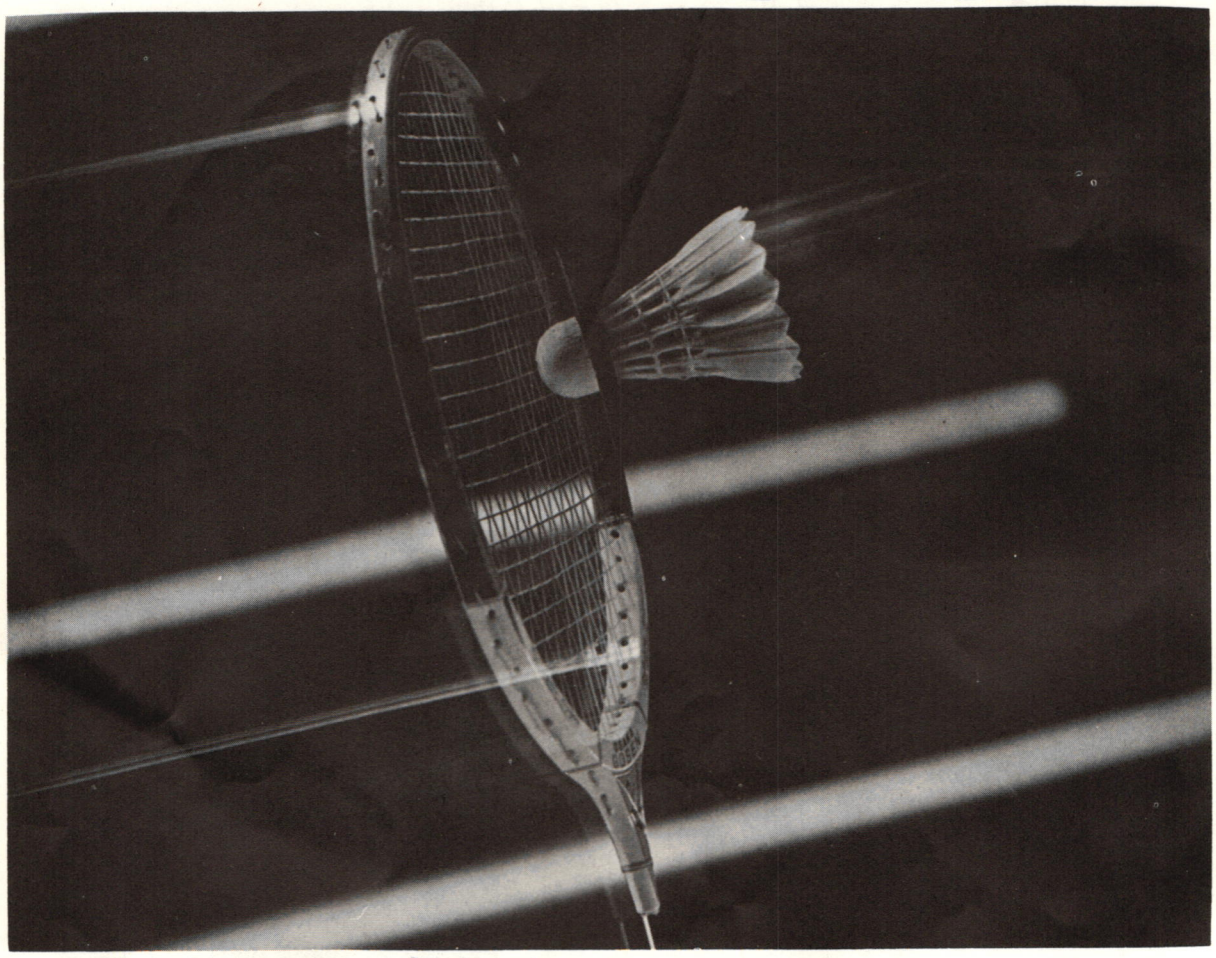
日大・土田



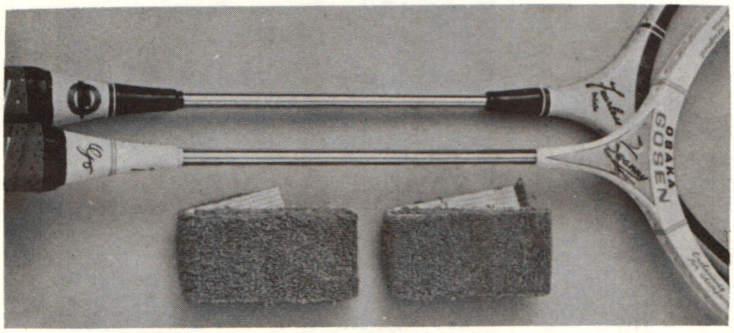
日体・武藤

《新発売》

Swannv



この確かなバイブレーション。
それはスワニー。



特殊合板の力強いフレームに、従来のものより長いステンレス・シャフトの強靭性が強力なバイブレーションを生み、重さも122g以下と今までより軽くなり、それがスピードとパワーの素晴しいバランスを構成し、ふりもシャープな一級品ラケットをつくりました。

No.β スワニー<フレーム・カバー付> ¥3,800

☆お買い上げになりますとタオルグリップがついています。

大阪合繊株式会社
本　社・大阪市東区豊後町4 ☎(06)942-5816 代
東京営業所・東京都台東区鳥越1-26-1 ☎(03)862-6576 代

シャトルコック談議



森友徳兵衛
（日本協会副会長）

バドミントンの羽根（シャトルコック）の形は人工衛星ジェミニによく似ている。空中を飛ぶ物体型状を、科学がきわめた結果がジェミニだとすれば、百年以上も前、シャトルを創案した人は、偉大な科学者だといえる。

漏斗（じょうご）型の羽根の部分は、飛行中、安定を保ちつつ加速を押えて、まことに優雅に空間を飛翔するのに役立っている。月に向かってハネが飛ぶハネムーンの語源はこれか、などというと、今どきの前座めくけれど、中国ではシャトルコックを羽毛球と呼んでいる。ちゃんと偉大な指導者の名が付いているところはさすがである。

世界選手権（トマス杯、ユーバー杯）、全英選手権などでは英国製RSL（レインフォースド・シャトルコック社）の羽根が使われる。羽根は温度、湿度気圧の高低によって飛距離が変わるのは当然であるが、4・73～5・5gと規定されている羽根を、RSLでは1グレイン（0・064g）ごとに十三種に分けている。

0・064g差で飛距離30センチ

1グレイン違うと飛距離が約30センチ変わる。頭髪二、三本の目方ほどの微差で争う、デリケートな競技がバドミントンなのである。試合中に、夜来の雨がカラリと晴れて上天気になったり、まばらだった観衆が、満員となって熱気が上がると、軽い羽根に替えなければならない。

シャトルコックを分解すると、羽毛、台となっているコルク、コルクにかぶせる薄く白い羊皮（あるいは特製のビニール皮）ハチマキのテープ、かがり糸、接着剤、それにコルクの中に埋めてある小さいおもり（鼓弾状）に分けられる。

このうち、コルクの品質もガットで打ったときの反撥に大切な弾力を要するので、よいものはポルトガル産の輸入品を使うこれはスがなく、羽根の元軸をしっかり喰い締めるだけの密度がある。皮も接着剤も糸も、それぞれプレーを楽しくするため大切だが、一番重要なものは、もちろん羽毛である。

シャトルコックにはナイロンやビニールを使った、いわゆる合成品のものがあるが、バドミントン競技規則（全二十二条）第四条で、シャトルの細目が規定されている。

頭が重ければ、それだけ速く飛ぶ

この中で特殊な標高や気象のため、羽毛より合成のシャトルを使った方がプレーによいとその国の協会が認めたとき以外は羽毛製のものしか競技に使用できないと定めてある。日本はアラスカやヒマラヤとは違い、他の大部分の国と条件が同じなので、合成品は競技用に認めていない。

しかし、遊ぶのには合成品でもけっこう楽しめるし、なまなかな粗製の羽毛シャトルよりはましな良品もあるので、耐久性（経済的）、画一性を利点として、広場での遊びや、羽根をこわしやすい初心者のための練習用に、相当、広範囲に使われている。

羽根の羽毛についてはニワトリの羽根が使用されていると思われがちだが、日本の公式戦に使われる国産の羽根も、RSLもすべてガチョウ（鵞鳥）の羽根製である。

このゲームがインドからイギリスに伝わった当初は、酒ビンのコルクにスワン（白鳥）の羽根を植えて打ったという話もあるが、実際には、スワンの羽毛

は軸が太すぎて使えない。ラケットで白い羽根をシュートするのが、貴族にとって狩猟を思い浮かべさせたとも伝えられている。水棲の鳥羽根が適していてアヒルも使われ、ガチョウより手に入りやすく安価であるが、陸棲に近いので、モロく品質が劣る。ニワトリの羽根は更に低廉である。もっとも昨今のニワトリはボイルドされ、機械で羽根をむしってしまうよし。使える状態ではない。

水棲のガチョウの羽根と陸棲のニワトリの羽根とは、シャトルに作って大きな違いがある。競技規則第四条ではシャトルの型状、大きさ、重さ、飛距離や飛びぐあいが定められている。飛距離と重さは当然、密接に比例しているから、約5gの羽根のうち、もし羽毛の部分の質量が少なければ、飛距離を出すため、あるいは所定の目方に必要のため、頭の部分を重くしなくてはならない。

ニワトリはガチョウに比べて羽根の持つ水の弾きぐあいが違う。並べて見ればよくわかるように、ニワトリは粗でガチョウは密である。脂肪分の含有も違うので質量が違う。ニワトリの羽根は退化してしまっているともいえる。

羽根の部分が割れたとき、指ではさんでしごくと、ニワトリの羽根はガチョウのようには元に戻らず、割れ放しが多い。このことは軸の丈夫さとともに、羽根によう空気抵抗に大いに作用するのである。

一定の飛距離を飛ぶのに、頭が重いとタイムが早い。ニワトリの羽では優雅に飛翔しないでおおげさにいうと、弾丸のように飛んでしまうから、どうしてもバドミントンのプレーにならない。

一羽からたった一個しかつくれない

バドミントンは、普通のフライトの場合、加速を押え、従って、走りまくれば長いラリーが連続して、別名バテミントンといわれるほどの肉体的消耗戦が展開されるところに面白さがある。世界的にガチョウ羽根が使用されるのもさこそである。

バドミントンでは米の飯ともいえる、このガチョウの主産地は中国である。そして、日本では現在、一年間に三〇万ダースのシャトルが費消され、しかも競技の普及につれ、ますます需要増加の傾向にある。

イギリスのメーカーは原毛をチェコスロバキア、ポーランドなどヨーロッパ産でまかなっているが、中国のものも入手しているようである。他にも開拓すれば、ガチョウを食する国もあるとは思うが、日本は地理的に見ても、中国に依存するのが常識的である。

カチョウ1羽で、シャトルは1個しか作れない。あんなに羽根があるのに、と思われるかも知れないが、シャトル1個16枚の羽根はテバ（肩の所の羽）の丈夫な羽根1本につき、1枚しかとれない。右と左のテバ各8枚で1個なのである。〝赤い羽根〟に使うようなものは、シャトルに使えない。

このテバの原毛を選別してまとめ、1キログラムの単位で計算するが、原毛1キログラムでシャトルが5・5ダース生産できる。ひと月に5千キログラムの原毛が必要量——大変な輸入量を中国に求めている次第。

ご存知、広州交易会を通じて商談がまとまるのだが、目下スムーズな入手状態とはいえないようで、先般の話では、他の商品と同様、値段も高くなったようだ。

中国でも、原毛のみでなく、製品もどんどん作っていて、冠軍牌、航空牌など日本のプレーヤーも使用経験ずみである。国産品に比べて廉価だから、製品輸入をすればよいのだが、正規のものに比して、飛翔中の回転が少く、プレーに最適とはいえないのが難点である。

日中友好で原毛輸入も好転するか

日本での競技は、昭和八年頃には、すでにプレーが行なわれていて、用具の渡来はもっと古い。横浜YMCAの広田兼敏氏が、先進国であるデンマークで体得したものが、正確に戦中を通じ、伝えられたことが、今日世界のトップレベルを占めている理由だといって過言ではない私は慶大在学中の昭和十五年以来、氏の直弟子であることを何よりの誇りにしている。

日中の関係は昨秋の国交回復以来、道が通って、本年一月北京で会談紀要の調印を済ませ、九月の中国男女チームを迎える運びとなっている。二日東京を皮切りに、十六日の横浜大会まで、全国で友好親善の競技会を催すが、女子は五分、男子は相当差で日本劣勢と見ている。男子は頑張って、予想をくつがえしてもらいたい。

十一月には日本チームが中国へ遠征する。日中友好の波に乗って、中国からよい原毛が安価に、たくさん入り、RSLに劣らぬよいシャトルが、安直に使えるようになれば、どんなに嬉しいことだろう。

また一方では、生産面における隘路、ハンドメーキングの部分がまだまだ多く、永年のコツに頼っている面が多いことも、解決しなければならない要点であろう。

原料の入手面を見ても、女子の世界選手権を保持しつつ、男子のタイトルに挑む日本のプレーヤーに満足を与えて練習に励むようになるには、まだ容易なことではない。千変万化ともいえる多様な国際状勢、経済状勢の風の中でシャトルコックの羽根は、女心のようにゆれているのである。

筆者あとがき　この一文は日経新聞からの依頼により執筆、六月十八日（月）に掲載されたものを、大幅に加筆訂正したものである。筆者は、「読む人は皆バドミントンを知っている」を前提にした約束で書いたのだが〝専門的〟と見なされた部分を直されてしまった。本来の目的を達したいため、改めて本誌に掲載をお願いした次第。新聞と読み比べて載きたい。

審査合格用具

銘柄名		会社名
シャトルの部		
インターナショナルハタチハネエース（1打）	¥2,400	羽立工業株式会社
ナイロンシャルルコック“メイビス”（1打）	¥1,800	株式会社ヨネヤマラケット
ラケットの部		
No.B60 スワニー（SWANNY）	¥3,800	大阪合繊株式会社
No.B56 エクセレント（EXCELLENT）	¥3,500	〃
No.B50 ハイスピード（HY-SPEED）	¥3,500	〃
No.B45 ハイトーマス（HY-THOMAS）	¥3,000	〃
No.B40 フィアレス（FEARLESS）	¥2,500	〃
No.B35 プロフェショナル（PROFESSIONAL）	¥2,400	〃
No.B30 フェニックスインピリアリ（PHOENIX IMPERIAL）	¥1,700	〃
No.9000 ハイステンレス	¥3,800	株式会社ヨネヤマラケット
No.8000 アルミナハイパワー	¥4,000	〃
No.7000 アルミナエース	¥4,000	〃
No.6500 トップエース	¥3,500	〃
No.6000 ファイブエースデラックス	¥3,500	〃
No.5000 ファイブエース	¥3,200	〃
No.3000 カレッヂエイト	¥2,300	〃
No.2000 キングダイヤ	¥1,800	〃
No.1000 クインハート	¥1,500	〃
No.10 スリーエース	¥1,400	〃
No.8 スリーエイト	¥1,200	〃
No.7 ラッキーセブン	¥980	〃
カァルトンラケット 3.7X	¥6,300	メトロレジャー株式会社
カァルトンラケット 3.7	¥6,300	〃
カァルトンラケット 3.9	¥5,700	〃
キャリー 7S フレーム	¥3,500	〃
キャリー 7G	¥2,500	〃
No.B−70 セブンティー	¥5,000	河崎ラケット工業株式会社
No.B−69 ブルーリース	¥3,500	〃
No.1200 スタミナデラックス	¥2,500	〃
No.1000 スタミナ	¥2,200	〃
No.204 ファインストローク（張り上げ）	¥1,400	〃
No.206 エバーウイン（張り上げ）	¥1,200	〃
No.210 ハードショット（張り上げ）	¥1,000	〃
No.201 ウイニングコース	¥1,500	〃
オールスチールハタチグラード	¥3,000・3,500 4,000 3種類	羽立工業株式会社
ハタチダイヤトーン	¥2,000	〃
No.8 ウインナー	¥1,100	株式会社トヨダスポーツ
No.1000 ニューミニ	¥1,500	〃
No.2000 ニューブラック	¥1,700	〃
No.7 シルバー	¥850	〃
ティピカル No.7	¥950	株式会社諸江製作所
ダンデイ No.800	¥1,150	〃
スナップ No.900	¥1,350	〃
シルバーデラックス No.1000	¥1,500	〃
キングクリッパー No.2000	¥1,800	〃

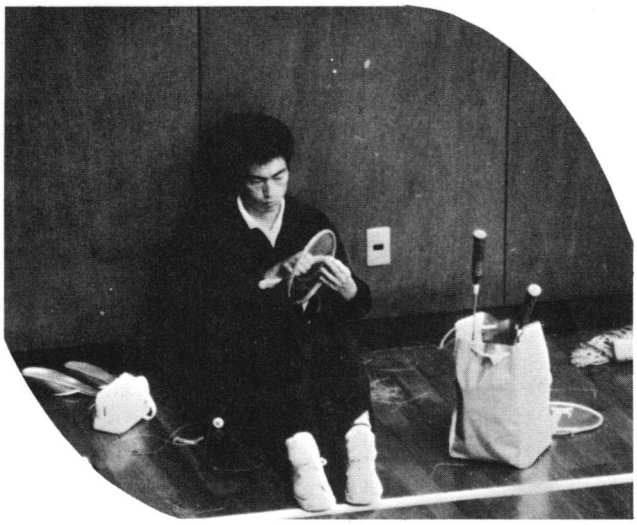
銘柄名		会社名
キングアロー No.2500	¥2,300	株式会社諸江製作所
ゴールドキング No.3000	¥2,800	〃
キングメイト No.3500	¥3,500	〃
ダンロップマックスプレイフォート	¥3,500	〃
ウェアーの部		
No.120 ショートパンツ	¥2,500	株式会社ヨネヤマラケット
No.121 ショートパンツ	¥1,600	〃
No.122 ショートパンツ	¥1,400	〃
No.142 シャツ（男子）	¥1,500	〃
No.141 シャツ（男子）	¥1,300	〃
No.140 クールネックシャツ	¥1,300	〃
No.241 シャツ（女子）	¥1,300	〃
No.242 シャツ（女子）	¥1,500	〃
No.243 ノースリーブシャツ（女子）	¥1,300	〃
No.200 巻きスカート	¥2,000	〃
No.201 フレアスカート	¥1,500	〃
No.203 プリーツスカート	¥1,300	〃
No.532 ショートパンツストレッチ（男子）	¥2,000	河崎ラケット工業株式会社
No.535 ショートパンツ（男子）	¥1,500	〃
No.500 半袖シャツ（女子）	¥1,400	〃
No.510 半袖シャツ（女子）	¥1,000	〃
No.505 ノースリーブシャツ（女子）	¥1,400	〃
No.517 長袖ハイネックシャツ（女子）	¥2,000	〃
No.590 スコート（フレアー）	¥1,700	〃
No.595 スコート（プリーツ）	¥1,300	〃
No.502 長袖シャツ（女子）	¥1,600	〃
No.594 （巻スカート）	¥2,000	〃
No.516 半袖ハイネック（女子）	¥1,800	〃
No.508 半袖ライン入りシャツ（女子）	¥1,600	〃
No.508 半袖ライン入りシャツ（男子）	¥1,600	〃
No.517 長袖ハイネックシャツ（男子）	¥2,000	〃
No.580 半袖シャツ（男子）	¥1,400	〃
No.510 半袖シャツ（男子）	¥1,000	〃
No.502 長袖シャツ（男子）	¥1,600	〃
No.516 半袖ハイネックシャツ	¥1,800	〃
No.422 ゴーセンハーモニウエアープリーツスカート	¥1,400	大阪合繊株式会社
No.425 ゴーセンハーモニウエアープリーツスカート	¥2,000	〃
No.426 ゴーセンハーモニウエアー巻スカート	¥2,000	〃
No.373 ゴーセンハーモニウエアー半袖シャツ	¥1,500	〃
No.370 男子半袖シャツ（無地）	¥1,000	〃
No.371 女子半袖シャツ（無地）	¥1,000	〃
No.400 男子半ズボン（白）	¥1,200	〃
No.427 巻スカート	¥1,600	〃
No.372 ゴーセンハーモニウエアー半袖シャツ	¥1,500	〃
No.405 ゴーセンハーモニウエアーショートパンツ	¥1,800 大1,900	〃
シューズの部		
バドミントンシューズ	¥1,600	株式会社ヨネヤマラケット
No.396 バドミントンシューズ		河崎ラケット工業株式会社

昭和48年度日本バドミントン協会検定合格用具

シャトルの部	銘柄名	小売価格（1打）	会社名
水鳥	トヨダトーナメントブルー	￥2,000	株式会社トヨダスポーツ
	ファースト・ゴールド	￥2,000	有限会社ジャワ商会
	ファースト・シルバー	￥1,800	〃
	サンバタ・キング	￥2,050	株式会社諸江製作所
	サンバタ・スター	￥1,500	〃
	サンバタ・クイン	￥1,900	〃
	シャトルコック“トーナメントデラックス”	￥2,500	株式会社ヨネヤマラケット
	シャトルコック“トーナメント”	￥2,050	〃
	CM印ホワイトウィン	￥1,700	日本バドミントンインダストリ株式会社
	CM印シルバーブルー	￥1,500	〃
	河崎エリートデラックス	￥2,500	河崎ラケット工業株式会社
	河崎エリートトップ	￥2,100	株式会社トヨダスポーツ
	トヨダトーナメントブラック	￥1,800	〃
	トヨダトーナメントホワイトジェム	￥2,250	羽立工業株式会社
	ハタチビクトリー	￥2,400	株式会社三和
	サンワ印ハイレッド	￥2,000	大阪合繊株式会社
	OGS“シルバー”No.205	￥2,000	〃
	OGS“ゴールド”No.200	￥2,200	株式会社諸江製作所
陸鳥	サンバタA	￥1,200	〃
	シャトルコック“検定球”	￥1,200	株式会社ヨネヤマラケット
	ハタチトーナメント	￥1,800	羽立工業株式会社
ネット	ナイロンA	￥3,000	鐘屋産業株式会社
	ビニロンB	￥2,500	〃
	ミセキネットA	￥2,400	ミセキネット製作所
	ミセキネットVA	￥3,000	〃
	倉敷ビニロン20／12本松本ネット	￥2,100	松本製網株式会社
	バドミントンネット（KT−518）	￥2,400	株式会社西喜商店
	GTO#70−3015線20S ×12本ビニロンロープ	￥2,300	株式会社ジィティヤング
	GTO#70−2112＋ナイロン210D ×12本ポリエステル防縮	￥2,900	〃
	GTO#70−3115線20S ×12本ポリエステル防縮ロープ	￥2,600	〃

インドネシア抜群のスピード

初めて海外遠征を経験して



遠藤好男　（日大出，電電札幌）

ヨーロッパに行くことができたのは、ひとえに皆様方のお蔭と、ありがたく思っております。今までの練習の成果が、外国人相手に発揮できれば、と思いながら旅立ちましたが、結果はさんざんでした。

まず、コペンハーゲン。試合が朝早くから始まり、しかも初の国際大会とあって緊張のしつづけ。体調の持っていき方が不十分であったと残念でなりません。試合も、シングルスは1回戦であっさり負けてしまい、練習の甘かったことを、深く反省させられました。

相手は自分と比べれば体格からして大人と子供。気分的に圧倒されてしまい、コートではアがりっぱなし。ミスばかり多くペースをつかむもなにもなく、情けない状態でした。それだけに、湯木さんの優勝は大変なことだと脱帽の気持ちです。

しかし、このデンマークでは早く負けたため、欧州選手のプレーをよく見る機会に恵まれました。会場はバドミントン専用のカマボコ型体育館で、見るからに迫力がありました。

予想以上、欧州勢のスタミナ

外人選手について、強く印象ずけられたのは、大きな体から繰り出す球の速さ、バックハンドの強さでした。欧州選手は体力がない、などといわれていますが、どうしてどうして、とんでもない。それは五分五分の線にいる人だけがいえることだと思います。

その中でも、目立ったのはインドネシア（ハルトノ、クリスチャン、チュンチュン）デンマーク（プリ、デルフス）らの対戦です。

ハルトノ絶妙のリターン追い込みの呼吸

プリは力強いプレーで押していく感じ。デルフスは対照的に柔軟性に富んでいます。相手の力を利用して左右にうまく振り分け、粘りのある体力で、大きな捌きです。

欧州勢は概して、大きな体から角度あるカット、クリアでゆさぶり、スマッシュでとどめといった型が多い。ムダなストロークがなく、相手を振るのが実にうまい。

これに対してインドネシア勢（特にハルトノ）は体力あり、速さあり、うまさあり、かけひきよしで、さすが。ハルトノは自分からの攻撃でポイントというのは多くはないが、リターンがうまい。どうしても相手が球を上げなくてはいけないように追い込む。フェインドでまどわし、相手の弱点を確実に功めていく。その呼吸、スピードは実に、なんともいえません。

軽いラケット、速い足

ダブルスもインドネシアの楽勝。欧州勢は速く落して、上がってきた所を力いっぱいたたくオーソドックス型。インドネシアはリターンが速い（球自体のスピードばかりでなく、捕え方が早い）ために相手が次の動作に移れない点が目立ちました。

軽いラケットを使っているため、手首で返球できるし、足の運びも早い。球と足がともに移動していくので、相手は押されてしまう。より高い打点から角度をつけるため、よくジャンプしていることが目立ちました。

次の全英では、私自身は〝第二のデンマーク〟にならないよう頑張りましたが、結果はやはり一方的でした。以前よりアガリはしませんでしたが、前半ミス多く、体力差もあって後半追い上げきれませんでした。いずれにしろ、今後の練習方法を考えるとともに、反省し、実行しなければと痛感しています。

再び「種を蒔き苗を育てる」論

昨年の十二月、日本体育協会でコーチ会議があり、私も出席した。その際、バレーボールの斎藤トレーナー（東海大助教授全日本コーチ）がとても参考になる話をしてくれた。

金メダルが偶然でないことを感じ、色々の批判めいた風評も少しは割り引かねばならぬかと思った。

「打撃力」をつけることに十分、力を入れ、それでも欧米勢のそれに、完全には追いつけないとさとるや、それをカバーするフォーメーション、テクニック…二段、三段、更に四段と、これでもかとフェイントを追求して、文字通り万全をつくしている。バドミントンがとって、もって範とするに足るものがある。

同氏の話によるとブルガリアの選手など、背丈はやや日本選手より低いのに、直立して腕を伸ばすと、手先は上に出るという。いわゆる「ぶんなぐる力」で圧倒してくる。

日本人の身体は、どちらかといえば草食動物系で、軀幹に比して四肢が小さく短かい。

この体型は「折つ」とか「投げる」とかいう動作には向かない。陸上や水泳の不振の一因はここにある、と私は考えている連盟役員が選手を強化する以前のカベが、厳として存在するのである。

食生活もさることながら、日常の生活動作、遊びの運動内容においても、腕に体重をかけるとか、重いものを手にさげてどんどん歩いたり走ったりするとか、ものを思いきり遠くに投げるというような運動が幼少の頃から極めてすくない。これが生得的な劣勢に輪をかけて、日本人の「投力」「打撃力」を貧弱なものにしている。

私が体育の専門家として調査した、幼稚園時代の運動内容にしても、日本のそれは、多分に唱歌遊戯的、リズム遊び的、子守的である。躍動的で自然の野性に満ちたところなど、まったくかげをひそめている。

欧米に劣る「打つ、投げる」力

急務、幼少時代からの基本対策

日本協会競技力向上副委員長
伊藤基記

陣取り、鬼ごっこの中に含まれている——相手の出かたでこちらの動きをかえる——かけひき。歩き、走り、跳び、投げ、けり、打ち、転がりする…身体をむちのように弾力的に力強くかつ、緊張が体内を波及的に走る動作。

ぐらぐらと揺れ動くものの上で平均をとる能力、空間を移動するものに対する眼と手の協応と、アンティシィペーション。そういうものを満喫させてやるような環境は皆無に近い。

小学校に行くまでに、この点で差をつけられてしまっている。

こういう国民的基盤の上にピックアップされたバドミントンやバレー、ハンドボール、その他、諸々のスポーツの選手が集められて、あのオリンピックを目標にしたバレーチームの見事なトレーニングに近いものが実施されたとすれば、ユ杯もト杯もオリンピックのバレーも、まだまだ余裕が見られるようになるだろう。

中国のバドミントンが、そのベールを脱いで、デンマークに親善試合を挑み、男女とも5—0で圧勝している。これから、世界のバドミントン界は、このシャトルの原産国の旋風に、当分あおられ続けるだろう。

日本なども、そのあおりをまともにくって、大揺れに揺れ、小手先の強化策ではどうにもならないところに追いこまれないとは限らない。トップの数名、いや一人二人が退いただけで、あとは心配でしょうがないという状態が、すぐに訪れるようでは、層の厚さを誇るわけにはゆかない。

この数十年間、種を蒔き、苗を育てる世界に、日本のスポーツ界は万全の努力をしてきたであろうか。

バドミントンも、その軌からはずれるものではない。

中学生から社会人まで、講習会や合宿、大会から対外試合まで、数多く、目白押しにスケージュールされている行事の消化だけで（それも必須のきわめて大切なことであるが）、鼻の下を伸ばしているわけにはゆかない。

広い裾野の上にだけ、高い峯がそびえる。目前の選手強化とともに、それと平行して、たくましい子供たちが育つ環境の整備を、スポーツの指導者達は考えなければならない。

その整備については、いうは易く、実施は極めて政治的であってカベは厚い。しかし、いま、そのカベの存在を再認識するだけでも意義なしとはない。

現在、高校でのバドミントンのクラブ設置率は決して低くはないし、中学での普及も、しだいに広まってきた。しかしながら、日本協会が当面、これらのプレーヤーに差し延べられる手は限られている。そして、日本協会だけが、いくら力んでみても、全国からの湧き上がる声と力がなければ、プレーヤーの育成はおぼつかない。技術よりも体力、という点を第一義に、関係者と幼少年対策を、よく話し合うことが先決と痛感する。

初歩からの体力づくり

暑さと疲労に打ち勝とう

―百万人のトレーニング入門⑥―

この夏を乗り切るための話

暑い日が続きます。こんなときは、身体ばかりでなく、頭の働きも低下しがちなので、この「トレーニング入門」もちょっと中休み。今回は夏に気をつけたいことを中心に、なんとなく雑談形式でお話をしましょう。

× × ×

かって、竹中悦子選手を育てた石川県・金沢の奥村明義さんが、地元女子高校生と京都女子大のバドミントン部員の夏季合宿を、健康管理の面から考察したレポートが、いま筆者の手元にあります。

その全部を紹介するだけのスペースがありませんので、結論だけいいますと「夏季合宿の自然環境は、バドミントンのようにエネルギー代謝率の高いスポーツには不向きである。従って行なう場合は、気温、湿度、通風を調べ、適当な時間を選択しないと、効果があがらない」ということでした。

夏休み中はインターハイを中心に、いろんな行事もあり、バドミントンをやっている人は一般人のように、涼しいところでごろ寝ばかりしておれません。しかし、合宿や練習もよほどうまくやらないと、かえってマイナスとなる場合もあります。

奥村さんのレポートの主対象となった高校合宿は八月十四日から二十日。この年のこの期間は「異常気温のため、例年になく朝夕、涼しい合宿であった」そうですが、それでも午前の主練習の始まる9時の気温、湿度は平均で27・7度、77・7%、終了する正午には同じく30・9度、湿度71%もありました。

日本の夏は、むし暑いことで世界的に有名です。このような時は、身体の機能が低下、疲労するので睡眠と食事に、よく気をつけなければなりません。

汗は、我々が無意識のうちにも少しずつ出ています。

1日にビール1ダース以上

激しい運動で出ていく汗

「汗をかく」状態は、気温が一定限度以上になると現われます。この限界温度は、夏は29度から30度です。では、人は一日にどのくらい汗をかくか。

一日に夏は約1リットル、運動量がふえると5リットル、さらに激しい運動をすると10リットルにも達することがある（藤巻時男編「からだ365日」）

ビールびん1本は容量0・72リットルですから、10リットルというと、14本分近くになります。別のデータによると、「夏すわって仕事をしている男子の場合、一日に1・6ないし、1・9キログラム。また気温37度、湿度65%の時に室内に裸でいると、一時間に蒸発する汗の量は130グラムであるが戸外で日射を受けている場合は一時間に1キログラムも出る」そうです。

いずれにしろ、ものすごい汗の量ということになります。

汗をかくと、体温が下がって涼しくなりますが、同時にエネルギーも奪われます。水分が1グラム蒸発するのに五百～六百カロリーの熱が出ていくそうですから、疲れるのも無理はありません。

練習や試合の中で、水を飲むなといわれるのは、飲んだものがさらに汗となって体外に排出され、疲れを増すからですが、それも程度によりけりです。体内の水分が少くなると、正常な活動ができなくなるからです。

水分の補給といっても、ナマ水や氷水などをガブ飲みすると腸の働きを弱め、食欲をなくしてバテル原因をつくります。湯ざましや麦茶のようなものが適当です。汗とともに体内の塩分も多量に失なわれがちなので、この面もお忘れなく。夏場、競走馬には塩だけをなめさせるほどです。

居ながらに汗の流るる日なりけり　たけし

長く日に当たっていると、日射病を起こすことがあります。人間は脳内温度が42度になると死ぬといわれますが、それほどでなくとも、不快指数が75を越すと、大脳は、快適指数の時の半分ぐらいしか働かなくなりますし、気温が30度を越すと、人間の身体は、睡眠を必要とする制止状態になります。

「天気と健康」（読売新聞社刊）によりますと、気温31・8度のとき、直射日光の下で頭髪の中の温度は36・4度もありました。女子や長髪族の男子は気をつけたいものです。トレーニング中ならともかく、できる限り帽子をかぶるとか、日傘をさすようにしましょう。

疲れを回復する一番てっとり早い方法は睡眠をとることですね。夏の合宿などでは、昼食後

昼寝をする習慣が一般的になっていますが、すでに述べたように、30度を越す暑さの下では、生理的に睡眠を必要とする状態になるのですから、日常的に昼寝することは、よいことです。

頼るべき片腕もなき　秋を昼寝かな

もちろん、夜のねむりも十分にとることが大切です。

扇風機のつけ放しは有害
風速1メートルで気温2度下がる

そこで二、三ご注意を。

フトン（7キログラム）の中には、温度25度で湿度70%のときに55グラムの水分がたまります。また、別の研究によれば一晩でコップ一杯の水分がたまるともいわれます。汗をかけばなおさらです。

万年床では水分の逃げ場所がありません。このような寝床では、身体にいいわけがありません。消毒を兼ねて、できるだけ干すようにしましょう。

暑くて寝苦しいからといってクーラーや扇風機をつけっ放しにすることもよくありません。扇風機の風が毎秒3メートルの速さで身体に当たると、気温が6度下がった場所で寝るのと同じことになります。

風が身体の熱を奪うのは、ご承知の通り（そのために涼しくなる）です。この風による熱の奪われ方は、風速の二乗根に比例します。つまり風速1メートル増すごとに、気温より2度ぐらい低くなります。

扇風機の風は身体全体に当たらず、風の流れも一定で変わりませんから、身体の一部だけを継続して冷やすことになり、当然、身体を悪くします。

寝ろ、といわれても、疲れすぎてとか、暑くて寝苦しいとか、いうこともあります。

睡眠の〝特効薬〟はありませんが、原則的なことを述べると①①寝る前に緊張を解放した時間をつくること（こわいスリラー番組のテレビなどを見て、すぐ床に入っても寝つかれないことが多い）

②目、耳からの刺激を絶つ。（灯りを消し、騒音、おしゃべり、刺激的な音楽などが聞こえないようにする）

③寝そびれる原因は①のように、精神が興奮していることがほとんど。それがしずまるのを待てば自然に眠れるものです。やむを得なければ、気分の転換をはかり、時には、軽く運動するのもよいでしょう。また、おまり腹が減って寝れないこともあります。

④入浴。入浴は新陳代謝を活発にして、緊張を解きほぐす効果があります。あまり熱くない湯に短時間入ること。長すぎたり熱すぎたりすると疲れる。

⑤気温。17度～20度ぐらいが最適といわれるが、疲れていれば多少、暑くても眠れるはずです。涼しくするのは結構ですがクーラーや扇風機のつけ放しはさきに述べた通り有害です。

拷問にでもかけられればともかく、普通、眠られずに死んだ人はいません。眠られなかったという人でも、大体、必要量は眠るものですし、たとえ一日ぐらい寝なくてもあまり心配しないことだ。睡眠中は体温の調節機能が低下するので、裸で寝るのはよくない。必ず薄物をかけること。

不快指数

梅雨ごろから夏にかけて毎日のように〝不快指数〟が新聞をにぎわします。

〝暑さ〟は気温だけでなく、湿気や風のあるなしによって非常に感じ方が違ってきます。人間の身体は、うまく自動調節されるようにできており、外界とのバランスを保っています。

暑ければ（つまり身体に熱がたまること）熱をはき出し（汗として水分が出ていくときに熱を発散する）ますが、湿度が高いと、水分の蒸発が妨たげられるため、熱がたまって、不快になるわけです。

そこで、気温と湿度の組み合わせの関係によって、不快さを表わすのが不快指数です。これは気温と、湿球温度（温度計の球の部分を湿った布でおおったときの温度）を加えたものを0・72倍し、それに40・6を加えた数で表わします。

この値は、空気中の水蒸気が水になった場合に発生する熱量を計算に入れた気温（華氏）に相当しています。

不快指数は60～70の間が気持ちのよい気象状態で、それ以下でも以上でも不快さが増しますが、これは実験によっても確かめられています。

指数が75を越えると、いちぢるしく不快となり、日本人の場合は80以上で半数、85で全員が不快感を持つといわれます。東京でのデータでは、八月に80以上になる平均日数は17・2日。ひと月の半分以上が不快です。

牛乳2本で3リットルの汗
中のアルカリ分補給できる

暑いと胃腸の機能も低下します。しかも汗とともに食塩やカルシウム分が流出して酸性症を起こし、心臓機能が衰え、抵抗力も弱くなります。野菜や果物など、アルカリ性食品を多く食べることです。牛乳二本分には汗3リットル中に含まれる塩分カルシウム分など以上のものが補給されます。

このほか、なるべく食欲をそそる工夫をして食べやすくすることはもちろんですが、その中でタンパク質、脂肪の多いものあるいはレバー、ニンジン、ノリなどビタミンの多いものを多く食べることも必要である。暑さ、疲れが食欲不振の原因だが食べないとさらに体力低下を招き悪循環になる。

なお、一般には栄養補給と称してビタミン剤の投与や注射をすることも多いが、実際に汗で流出するビタミンは少量である

美しきみどり走れり　夏料理　立子

「全国安全週間」ポスターに登場

広がるバドミントンの輪　盛岡では市広報誌の表紙に

最近、地方から二つのお便りをいただいた。一つは福島県喜多方市役所・総務課の関口明さん（市役所バドミントン・クラブ代表者）からのもの。労働省の「全国安全週間」（7月1日―7日）のポスターの絵がバドミントンだったから、というお知らせである。

残念なことに、送られてきたのが、ポスターそのものでなくコピーなので、誌上でお目にかけることができない（はっきり写らないだろうから）。その絵柄は、職場のユニホームと思われる上っ張りを着た若い女性三人が、小脇にラケットを抱え片手にシャトルを持った図。

おそらく、皆さん方の中には気がついた人もあるかもしれない。もし、編集部も早くどこかで目をとめたら、と思う。もし実物をお持ちの方などがいたらお送り下さい。この欄に掲載、ご紹介します。

もう一つは岩手県協会の前理事長・佐々木隆夫さんから。盛岡市・市民生活課発行の「広報もりおか」表紙がバドミントンだった。

「明日へのいぶき」という連載企画第1回、バドミントンを楽しむヤング・レディが紹介されている（写真）。

せっかくなので、その全文を転載してみよう。

×　×　×

○…希望や不安、情熱や模索。いろいろ悩み、未来に向かってせいいっぱい生きている〝10代〟―ここにも、あそこにも、その若いエネルギーは、飛躍、発展への原動力。悔いのない青春を…と願わずには、いられません。

今回から何回かにわたって、このような〝ヤング〟たちに登場してもらい、その素顔を紹介してみましょう。題して「明日へのいぶき」。

○…福士洋子さん、17歳。1年前から、中央通三丁目、勤労青少年ホームの会員です。勤労青少年ホームは、市の施設として、働く若者たちが余暇を楽しく有意義に過ごしてもらうよう設けられているもの。

洋子さんは前からバドミントンが大好きで、ここでもバドミントン部（新田義勝リーダー）に所属、毎週土曜の夜はホームで楽しいひとときを過ごしています。

○…洋子さんの出身地は岩手県西根町。西根中学校3年のとき、バドミントン部の一員として、県大会に出場、同校は3位入賞しました。その実績があるだけになかなかの腕前です。

ホームの部員は13人、まだ外部との試合経験はありませんがリーダー新田さんをはじめ部員の皆さんは、もっと腕を磨いて対外試合をしたいと、ラケット片手に熱心です。

○…「ほんとうは東京で仕事につきたかった」ということでしたが、両親のたっての願いで上京をあきらめ、現在、中央通一丁目の洋服店で働いています。両親のもとへは、ときどき帰りますか―と聞くと「ハイ休日にね」と白い歯を見せました。

仕事もホームも楽しいが、もっと親しくつき合える友人が欲しいという洋子さん。いま、自分でやりたいことは―「ささやかですが、関西方面に旅行し、見聞を広めたい」…。

×　×　×

バドミントンも最近ようやく多勢の人に親しまれ、日常生活に溶け込んできたようです。



身体障害者の機能回復にバドミントン

大阪，和歌山などにも体育館建設



六人制バドミントンなら車イスでも十分楽しめる（国立身体障害センターで）

バドミントンは身体障害者の機能回復訓練や社会復帰のための〝運動〟として大いに役立っている。

世界的な規模としてはパラリンピック、日本でも国体の時に行なわれる全国大会など、身体障害者のためのスポーツの催しが行なわれ、日常的にも、あちこちでスポーツ活動が盛んなことは、ご存知の通り。

東京・新宿の国立身体障害センターでは、入所者全員が、必ずスポーツをやるよう指導している。卓球、洋弓、バドミントンなど15種目あり、週二回、一時間ずつ汗を流す。

もちろん、ルールはふつうのものと若干、変えなければいけないが、バドミントンの場合はネットをはさんで六人ずつのチームが対戦する仕組み。バレーの六人制と同じ要領で、それぞれ守備範囲が決まっているから車イスでも十分プレーできる。

☆

この身体障害者向けのスポーツ施設も各地で少しずつふえており、昨年末には私歌山市に県立の福祉更生ホームが誕生。体育館は延べ777平方㍍の広さで、もちろんバドミントンができ、水曜以外の毎日、身障者に無料開放している。

また、大阪市は長居公園内に身体障害者スポーツセンター建設を始めており、四十九年二月末には完成する予定。体育室は755平方㍍あり、ここでもやはりバドミントンができる。

女子で4位のバドミントン
京大「好きな運動」アンケート

京都大学教養学部体育教室が一回生二千二十七人（うち女百七十一人）を対象に行なったアンケートによると「好きな運動」男子では①サッカー②卓球③テニス④バスケット⑤バレー⑥野球⑦ソフトボールの順。女子は①卓球②テニス③バレー④バドミントン⑤バスケット⑥水泳

「今後やってみたい運動」は男女ともスキー1位。男子は以下②テニス③スケート④サッカー⑤卓球⑥ラグビー⑦剣道⑧ゴルフと続き、女子は②スケート③テニス④バドミントン⑤卓球⑥バスケット⑦剣道⑧ゴルフ。

一時ブームを伝えられたボウリングはさっぱりで、野球もまた「六三制野球ばかりが強くなり」の時代がすぎたよう。女子でバドミントンが、ともに4位というのはたのもしいが、男子の諸君も、このすばらしい競技にもっと関心を持ってもらいたいところ。

（毎日新聞大阪版から）

佐賀・牛津町で〝総バドミントン〟計画

佐賀県小城郡牛津町は51年佐賀国体バドミントン会場になるのを機に〝町ぐるみバドミントン〟運動を展開することになった。昨年の鹿児島国体を視察した津脇正二公民館主事が考え、町体協もすぐOKした。

当面の柱は技術向上と体力づくり。前者については高校生を対象にしたバドミントン・クラブをつくり指導者を養成する。体力づくりの一環としては町内29地区に各々シャトル1ダースラケット4本、ネット一式を町で無料配布、小、中学生や婦人会員に自由に使わせる。

町教委は来年度からは年二回地区対抗の大会を開き、51年までには国体ムードを盛り上げ、将来はバドミントンを〝町技〟として定着させよう、という計画。佐賀はバドミントンの〝発展途上県〟であり、今後が大いに楽しみ。

（フクニチ）

大会運営規定100問集

〈第6回〉 日本教職員連盟編

第42条 プレーヤーはやむを得ない場合であって主審の許可を得たときの他、1試合終了するまでコートを離れて競技区域を出てはならない。

ここにいう競技区域とは競技に専用される一定の区域を指し、一般役員、観衆、選手席などと区別された区域である。

問57 試合中、プレーヤーが競技区域から出ることを主審に許可される、やむを得ない場合とは、たとえばどんなことですか。

答 シャトルを打ちそこなって、コート外へ出してしまったとき、プレーヤーが取りに行くのが都合のよい場合がありましょう。ラケットの糸が切れたとき、別のラケットを取りにゆくのも止むを得ないことでしょう。競技区域から手を伸ばせば取れるところに予備のラケットを置いておくことができれば、もっとよいのですがね。

着衣のボタンがとれたとか、靴が破れたとかいうようなことで着替えのため一時退場することがありますが、本来ならそこで棄権を申し出るべきことです。主審としては許すでしょうが、その際は手早く着替えて、中断の時間を少しでも短くする心がけが必要です。

第43条 プレーヤーが自己の出場すべきときに出場しない場合は、審判員はこれを棄権とみなして相手方の勝を宣する。

試合中のプレーヤーが病気その他の事故のため競技を続行することができないときは主審はこれを棄権とみなして相手方の勝を宣する。この際の記録は棄権直前のスコアを記し、棄権のむね事故者側に書き添える。

問58 事故タイムは、なぜなくなったのですか。

答 競技規則第22条の趣旨に従って廃止したのです。バドミントンの試合は、お互いのスタミナの競争でもあるのです。ところが、汗ふきなどにことよせて、たびたび休むプレーヤーがいるので、第22条（注、競技の継続）が加えられました。これをさらに押し進めて考えると、休憩しなければならないような病気やケガを起したことは、もはやその試合に負けたことになります。

また、中学生や高校生の場合健康管理の上から、事故タイムを与えた方がよいという考え方もありましょうが、直ちに棄権する方が、かえって健康のためによいと思います。

ベンチにはその生徒のことをよく知っている顧問の先生方が監督としてついておられるのですから、主審よりも監督の方が先に判断して、主審へ棄権を申し出ていただきたいと考えます。

第44条 試合中停電、火災地震などの不可抗力の事故のため、競技の続行が不可能となった場合は、次の措置をなす。

一定の時間を経過すれば競技が実行できる場合は、競技が中止されたときのゲームの得点のまま再開する。

長時間またはその日の中に続行不可能の場合は、その試合を行なわなかったものとする。

団体対抗で上記の場合は、その試合までは有効とする。そして再開に当たってはオーダーは変更できない。

問59 不可抗力の事情のため団体戦が二日がかりになったことがありますか。

答 ありましたよ。島根県の松江市で全国高校大会が開かれたとき、たしか準決勝だったと思いますが、2複3単の5試合の第2ダブルスが、あまりにも時間が遅くなったので途中で打ち切られました。ゲームオールか何かになった、切りのよいところでした。この試合までは有効と決められていますので、翌日は第3ゲームから再開し、続いてシングルス3試合が行なわれました。

第7章 会場

第45条 大会に使用する会場は雨おおいを有し、かつ競技中は外気の通風をしゃ断できるものでなければならない。

第46条 天井の高さはコート面より8㍍以上とする。

第47条 競技区域（第42条参照）は、コートの外側四周にそれぞれ1・5㍍以上の余積を有しなければならない。

また1会場に2面以上のコートを設ける場合には、隣接するコートの間隔は1・5㍍以上とする。

問60 屋外では正式の大会はやれないのですか。

答 できません。この規定は諸外国より日本の方が厳しいようです。日本では戦後20年昭和代の社会情勢の中でも、バドミントンの指導者は何とか体育館を探し求めて大会を開いたものでした。

特に、競技中は外気の通風をしゃ断できるものでなければいけないという条項は、ある意味ではぜいたくな要求かも知れません（中略）。

私たちも練習やレクリエーショナルな大会などは、屋外も利用することを考える必要がありそうです。体育館を使えないことを嘆いている間に、屋外用のシャトルを研究することですね。

問61 天井まで8㍍ない会場でも、大会が行なわれることがありますか。

答 最低8㍍はほしいですね天井までと書いてありますが、実は天井から吊輪などがコート上に下がっているときには、その下縁までが床から8㍍という意味です。

しかし、そんな天井の高い会場はたくさんはありません。そこで8㍍以下のときには、審判長は会場ルールを定めて、天井や障害物にシャトルが触れたと

きは「レット」にするわけですただし、すべての場合にレットにするのでは試合の進行に差しつかえますので、サービスのときだけレットにするのが普通です。

問62 競技区域はチーム役員や控えのプレーヤーのベンチを含むのですか。

答 含みません。コートの囲りの1・5㍍や、コートとコートの間の1・5㍍の余積の外にベンチを置かねばならないのです。

また、そのコートの主審はどうしても競技区域内に入ってしまいますが、ネット・ポストのところですから、問題にはなりません。サービス・ジャッジはサービスのときに一時、競技区域内に入ることがありましょうが、サービスがすんだら、すぐ外へ出ていくよう心がけます。

問題は線審です。日本の規定では線審が4人で、1人がサイド・ラインとバック・バウンダリ・ラインの両方を見なければなりませんので、コートのコーナーから50㌢くらいのところに位置します。これは今後の問題として考えなければならないことです。

第49条 会場の照明は、各コートともネット中央上縁において500ルクス以上とする。

第49条 コートの真上は完全にしゃ光されていなければならないし、またいかなる発光体もあってはならない。

コートのバック・バウンダリ・ライン上のいかなる位置から、反対側のバック・バウンダリ・ライン上いかなる位置を見通しても、その延長線上はすべて、しゃ光されていなければならないし、いかなる発光体もあってはならない

問63 コート上の明るさですが、ネット中央上縁での500ルクスという数字はどこから来たのですか。

答 旧規定では300ルクスでした。これでは実は暗すぎるのです。しかし、日本の当時の社会経済事情では「せめて300ルクスは…」という願いを込めての規定でした。

アメリカのある文献にはバスケットボール500ルクス、バドミントン700ルクスと書いてあります。しかし、現在の500ルクスの規定も、まだまだ完全には守ることはむずかしいのではないでしょうか。

問64 では照明の工夫をして光をコートに集めたらどうでしょう。

答 そこですね。40条の趣旨は、まずコート上に光源がないこと。次に、プレーヤーがコート上のどの位置にいる場合でもシャトルを見るときに逆光線にならない、ということです。

バドミントンでは、バレーボールやバスケットボールよりずっと小さいシャトルを打ち合うのですから、あかるさも必要であると同時に、逆光線にならないことも大切です。

そこで理想的なバドミントン照明は、ネットの延長線上に光源を置きます。つまり、ネットポストのすぐ外側ですね。そして床上約3・5㍍の高さに電灯を掲げるのです。天井からつりさげてもかまいません。

こうすればコート上に光源はないし、シャトルは斜めに下から照らされて、暗い天上に対照して、くっきり浮かび上って見えることになります。天井や観覧席の照明は、試合中は、全部消してしまうことはいうまでもありません。

（続）

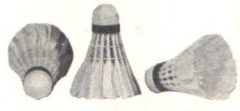
◎この大会運営規定100問集は一部百八十円（送料別）左記で取り扱っています。百万人のプレーヤー必携の書として一冊、お求め下さい。

◎東京都練馬区旭丘一の五一日本教職員連盟、前田耕作方

水鳥 検定合格球

ファストゴールド

ファストシルバー





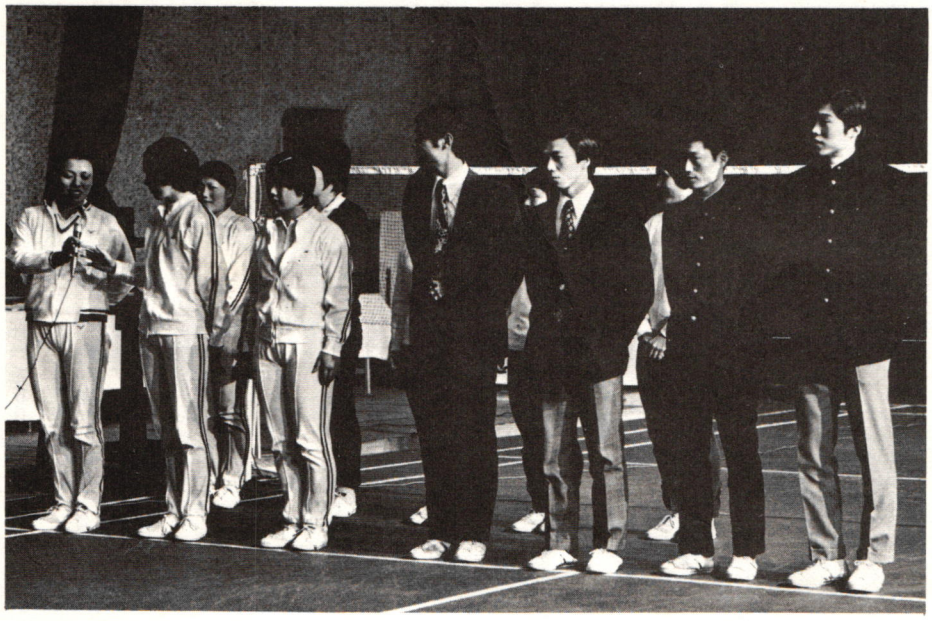
ファスト印シャトル
コック 製造発売元

有限会社 ジャワ商会

山形市六日町7の28
電話 0263（22）3994(代表)

湯木、三年ぶり二度目の王座に

竹中にストレート勝ち　第4回チャンピオンズトーナメント



第四回全日本女子チャンピオンズ・トーナメント（東京12チャンネル後援）は全英選手権派遣選手の壮行試合を兼ねて、三月四日、東京・代々木の岸記念体育会館で行なわれた。

前年度公式競技の優勝者を中心とするベスト8人がシングルスのNO1を争った。高校NO1の秋本幸、徳田（ともに四条畷学園高）も出場したが、ベテランとの力の差はどうにもできず、一回戦で敗退。決勝は順当に湯木（カワサキ）×竹中（ヨネヤマ）が対決したすえ、湯木がストレート勝ちして三年ぶり二度目の優勝を飾り、森友杯を手にした。

なお、競技に先立って、全英代表の紹介が行なわれ、小体育館ながら満員の観衆から激励の拍手を受けた。

▽1回戦

……

選手紹介を受け、一言ずつ決意を述べる全英代表。いずれも前列。左から湯木、竹中、西尾、本間、今泉、遠藤、銭谷（相沢は欠席）

湯木（カワサキ）11－2 徳田（四条畷学）
11－7 池田（日女体大）
12－10 秋本（日体大）

竹中（ヨネヤマ）6－11 石崎（電電東京）
11－5 西尾（日体大）
11－7 秋本幸（四条畷学）

▽準決勝

湯木 11－5 池田
11－3

竹中 11－5 西尾
8－11 11－5
11－9

▽決勝

湯木 11－5 竹中
11－4

宮城県

◆第26回県選手権大会兼全国高校選手権第1次予選（5月3－6日・県スポーツセンター他）

◇決勝

▽中学男子シングルス

宍戸（七ヶ浜）15－14 渡辺（七ヶ浜）
15－2

▽中学男子ダブルス

安達・池田（第二）15－6 赤坂・加藤（第二）
15－0

▽中学女子シングルス

高橋（ウルスラ）11－8 品川（ウルスラ）
11－9

▽中学女子ダブルス

我妻・管野（七ヶ浜）15－7 保坂・古川（第二）
15－9

▽高校男子シングルス

阿部（東北）15－11 八巻（育英）
15－8 15－6

▽高校男子ダブルス

八巻・今野（育英）9－15 竹内・渡辺（育英）
15－15 7－4

▽高校女子シングルス

渥美（塩釜）10－12 武田（塩釜）
11－4 10－10

▽高校女子ダブルス

渥美・松本（塩釜）18－13 大場・武田（塩釜）
15－7

▽一般男子シングルス

菅（東北学）10－15 山並（仙商ク）
15－15 9－10

▽一般男子ダブルス

渡部・山並（宮工ク、仙商ク）15－7 渡辺・牛渡（塩釜ク）
15－7

▽一般女子シングルス

高橋（宮ク）11－0 高野（宮ク）
8－11 8－10

▽一般女子ダブルス

高野・高橋（宮ク）15－10 後藤・大友（塩ク）
14－17 15－0

▽男子二部シングルス

加藤（仙商ク）15－3 王手（岩沼体）
15－4

▽男子二部シングルス

高橋・峯田（宮ク）15－12 加藤・内藤（仙高ク）
8－15 15－6

▽成年男子シングルス
植野（育英ク）15-6 田中（宮ク）15-7
▽成年男子ダブルス
植野・浜畑（育英ク）18-15 15-10 明石・三浦（東北大）
▽教員シングルス
鈴木（西根）15-3 15-7 佐藤（宮工）
▽教員ダブルス
佐藤・鈴木（宮工、西根）15-6 15-11 松本・菅原（古川、塩釜）
▽混合ダブルス
渡部・高橋（尚絅）15-5 12-15 15-4 加藤・高野（仙、宮）
▽ベテラン・ダブルス
千葉・高橋（自衛隊）15-6 15-12 松野・奈良坂（郵政、東北大）

広島県

◆第4回会長杯選手権（2月18日・県立体育館）
▽男子シングルス準決勝
矢野 2-0 多田
永井 2-0 福永
▽決勝
矢野 2-1 永井
▽男子ダブルス準決勝
矢野・占部 2-0 逸見・永井
多田・山岡 2-1 松本・福永
▽決勝
矢野・占部 2-0 多田・山岡
▽女子シングルス準決勝
広田 2-0 沖野
宮地 2-0 松本
▽決勝
広田 2-0 宮地
▽女子ダブルス準決勝
沖野・松吉 2-0 三森・宮地
広田・松本 2-0 藤井・吉永
▽決勝
広田・松本 2-1 沖野・松吉
▽壮年男子シングルス準決勝
新庄 2-0 村上
大道 2-0 大川
▽決勝
新庄 2-0 大道
▽壮年男子ダブルス・リーグ戦
①新庄・大川3勝②大道・村上2勝1敗③咲賀・土田1勝2敗④片岡・梅谷3敗

新潟県

◆第13回県総合団体選手権（2月4日・新潟市体育館）
▽男子A級準決勝
新潟商OB 2-1 羽好会
三条協会A 2-1 舟栄クラブ
▽決勝
新潟商OB 2-1 三条協会A
星野 2-11 捧
高橋 6-11 ○橋崎
○阿部 8-11 鈴木
11-3 11-4
○大竹 2-11 芦田
11-5 11-2
▽女子A級準決勝
青陵高A 2-0 中央高
青陵高B 2-0 長岡女B
▽決勝
青陵高B 2-1 青陵高A
○樋口 11-10 前田
涌井 12-10 関根
海老 6-9 大塚○
1-9
○佐藤 9-6 平野
9-3
▽男子B級準決勝
新潟高 2-0 県庁A
三条商 2-1 三条協会B
▽決勝
新潟高 2-0 三条商
▽男子C級準決勝
桜ヶ丘高 2-1 三条商定
三条高定 2-1 県庁B
▽決勝
桜ヶ丘定 2-1 三条高定
▽女子B級準決勝
小千谷西C 2-1 清心女子高
桜ヶ丘高B 2-1 小千谷西B
▽決勝
小千谷西C 2-1 桜ヶ丘高B

岡山県

◆県総合選抜岡山大招待大会（2月4日・岡山大清水記念体育館）
▽男子シングルス準決勝
三宅 18-13 上野
（水工）15-0（三井造船）
岡（岡大）15-3 万代
15-2（三井造船）
▽決勝
三宅 15-8
15-7 岡
▽男子ダブルス準決勝
三宅・柳本（水工、旭）2-15 15-6 15-6 藤原・万代（三井造船）
上野・芳上（三井造船）15-7 15-6 藤井・高木（岡大OB）
▽決勝
三宅 15-9 上野
柳本 15-9 芳上
▽女子シングルス準決勝
原田（山陽）11-7 11-0 旦原（山陽）
近藤 11-3 11-1 寺見（山陽）
▽決勝
近藤 11-0
11-2 原田
▽女子ダブルス準決勝
原田・藤原（山陽）15-9 17-14 三田・寺見（山陽）
近藤・国定（山陽）15-3 15-6 木村・鈴木（山陽OB）
▽決勝
原田 15-0
原藤 15-8 国定近藤

愛知県

◆第16回中日杯争奪県実業団選手権（2月4日～25日・県体育館ほか）
▽男子1部①トヨタ自工5勝②名鉄4-1③日本電装3-2④三菱重工A2-3⑤豊田織機A1-4⑥新日鉄5敗
▽男子2部①市役所A5勝②豊田工機A4-1③トヨタ同好3-2④八州商事2-3⑤トヨタ自販1-4⑥中電5敗
▽男子3部①新日鉄B4勝1敗②重工岩塚3-2③プラザー3-2④住化A2-3⑤三菱電機A2-3⑥県庁1-4
▽男子4部①電電A5勝②織機B4-1③伊奈製陶2-3④パロマA2-3⑤工機B1-4⑥裁判所1-4
▽女子1部①豊田織機5勝②トヨタ自工4-1③日本電装3-2④名鉄2-3⑤トヨタ自販1-4⑥新日鉄5敗
▽女子2部①豊田通商5勝②豊田工機4-1③川西倉庫3-2④中電2-3⑤愛知製鋼4敗⑥伊奈製陶4敗
▽女子3部①教室ク5勝②YMCA4-1③愛教大職3-2④大同製鋼2-3⑤桜山ク1-4⑥名古屋税関5敗



今月のことば

ミュンヘンで決勝に敗れた日本女子チームが〈銀メダルなんか要らない〉と泣いた話をすると、驚嘆の目を見開いて
「二位！すばらしいじゃないですか。何を泣くことがあるのでしょう」
（読売新聞・人間登場）

これは、インタビュー記事の一節。答えているのは昨秋、来日した中国バレーボール・チームの団長・徐振宇さん。もちろん、ここで引き合いに出されているのは、メキシコ五輪に続いて、再度、ソ連に敗れた日本の女子バレー・チームだ。

皆さんは、彼女らが銀メダルに終わったとき「わかる、わかる」と思ったろうか「二位は立派だ」と思ったろうか。

「2位」でなぜ泣くのか
私達にとってスポーツとは？

スポーツには、さまざまな取り組み方があり、人がいる。単なるヒマつぶし、娯楽と考えている人、世界一となり、あるいはなろうと努力することが、人生そのものである人。どれもスポーツであり、どれが正しくてどれが間違っているということではない。

しかし、考えてみると、人には欲望があり、はっきりした目的意識を持って、定期的にスポーツに従事している人ほど、その欲望に従って行動する。簡単にいうと、人に負けたくない、勝ちたい、と思う。

今日、科学の進歩のおかげで水泳、陸上、スピードスケートなどでは千分の1秒差まで計測して順位がつけられるようになっている。事実、千分の1秒差で金メダルの明暗が決まった例がある。

そして例えばスピードスケートで千分の1秒は距離にして1センチ余にすぎないため「それに何の意味があるのか」との議論もしばしば聞かれる。

しかし、スポーツ最大の美点は、勝敗、序列を明確にできることにある。そのためにこそ、その努力を通じ、自分をつくり人生を知り、友好をはぐくむのである。

だから「二位ではダメだ」とするのは真理である。が、考えてみれば半面の真理にすぎない。なぜなら、スポーツは敗者に、これまでの努力が無意味に終わったことを教えるためにあるわけではないからだ。

そうであってはならない。人には死ぬまで努力、挽回の機会が与えられている。つねに勝者の努力と能力に学び、自分もそれ以上の努力をする。それが競争の原理であり、社会を支えるエネルギーなのだ。「負けて二位に終わった」ではなく「勝ち上って二位になった」と考えれば、希望もまた湧いてくるというものだ。努力不足が原因で勝てなかったのなら話は別だが…。残余は次々号あたりに登場できそうです。

次号は〝底辺特集号〟

次号は〝底辺特集号〟です。いまや、いわゆるママさんバドミントンは、バレーなどをしのぐ勢いで全国各地に広がっています。東京では、この春に「母と子の大会」も開かれました。こうしたことを中心に、世界のトッププレーヤーを生み出す日本の底辺はどうなっているのかを、多彩な角度から紹介していきます。

このほか、待期中の各種競技会レポートも、徐々に登場。近ずくインターハイに関しては、団体戦の組み合わせを中心に予告を紹介します。写真グラフも底辺に焦点を合わせて、あちこちの街で拾ったスナップを中心に組む予定です。

ご期待下さい。

編集室から

○…追いつけ、追い越せ、はどこかのスポーツ界の合言葉だが、わがバドミントン界もまた同じ。いうも恥しいぐらい遅れた発行を、平常に戻すべく、先月は二冊を同時編集、今回も同じことになりそう。もう一月で、本来の発行日にきちんと合う計算になるはず。この間、多少の拙速主義は、お許し下さるようにお願い。

○…新執行部が発足したのに合わせ、編集部つまり日本協会出版局のメンバーも一部手直しがあり、編集者として、もと立大で名プレーヤーだった（と先輩がいっている）瀬戸孝君が入った。現在の〝本業〟がこのような雑誌の編集。本誌にもおそらく新風を吹き込むことになるでしょう。次号にご期待。

本号は日中問題の関連記事で大半を占めましたが、それでもまだ十分に紹介したとはいえな

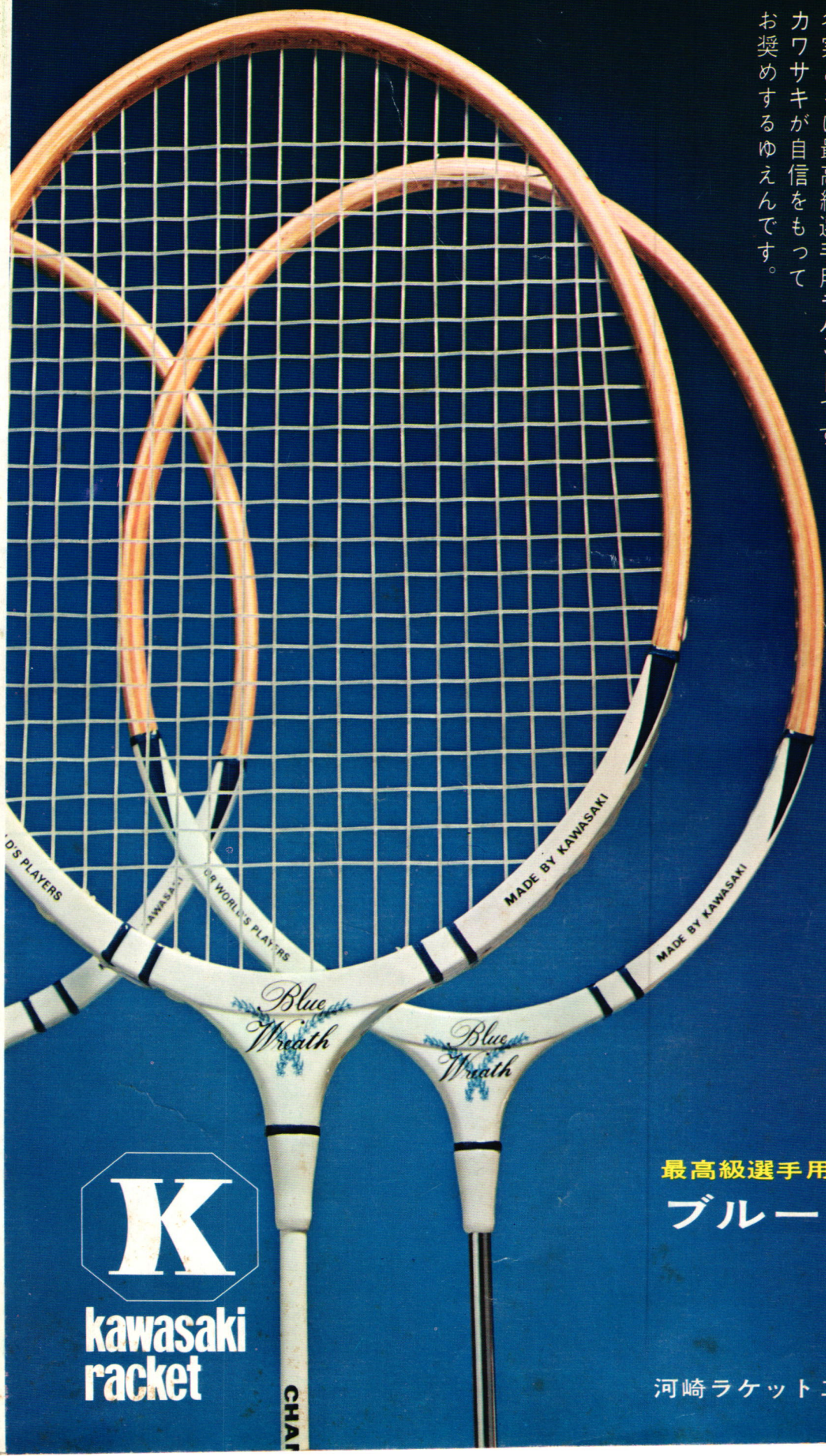
【バドミントン界】第42号
昭和47年5月25日　印刷
昭和48年6月1日　発行
編集兼発行人　川端昇市
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育館内
日本バドミントン協会
電話　四六七・三一一一（内線）二五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九
明宏印刷株式会社
定価　一部　百三十円

©無断転載を禁ず


SunBatta
SUNBATTA
SUNBATTA
KING
SUNBATTA
It's Excellent in the Court.
SUNBATTA KING, KING MATE
SunBatta
TOKYO
サンバタ
MOROE SEISAKUSHO CO.,LTD.
46-8, Sasazuka 2-Chome, Shibuya-ku, Tokyo, Japan
Phone : Tokyo (03)377—4401

向かうところ敵なし——!!

世界を相手に活躍するブルーリース。カワサキの技術が開発した、ロングシャフトで先軽のバランスがベストセラーの秘密です。世界中のトッププレイヤーに信頼される名実ともに最高級選手用ラケットです。カワサキが自信をもってお奨めするゆえんです。



K
kawasaki racket

最高級選手用
ブルーリース
No.B-69

河崎ラケット工業株式会社

昭和四十八年六月一日発行（毎月一回一日発行）